オペレーター マニュアル

日本語

Trendsetter NEWS (TSM バージョン)

653-00537A-JA-A

www.creo.com

Trendsetter NEWS (TSM バージョン)

オペレーター マニュアル

creo™

著作権

Copyright © 2003 Creo Inc. All rights reserved.

Creo の書面による明示的な許可なくして、本マニュアルのすべてまたは一部を複製、頒布、出版、変更、または組み込むことはできません。本マニュアルの複製、頒布、出版、変更、または組み込みが許可されている場合は、著者帰属、商標凡例、または著作権表示を変更または削除することはできません。

Creo, Inc. の書面による明示的な許可なくして、電子的、機械的、複写、記録、またはその他のいかなる形式や方法でも、本ドキュメントのすべてまたは一部を複製、検索システムに格納、出版、商取引の開発を目的とした使用、または伝送することはできません。

本マニュアルは、Adobe Systems Incorporated の PDF (Portable Document Format) 形式によっても頒布されています。お客様は、社内使用を目的として PDF ファイルから本マニュアルを複製することができます。PDF ファイルからコピーを作成する場合は、マニュアル全体を複製する必要があります。

商標

Creo 文字商標、Creo ロゴ、および本マニュアルで参照されている Creo の製品とサービスの名前は、Creo, Inc. の商標です。

Adobe、Acrobat、Acrobat ロゴ、および PDF は Adobe Systems, Inc. の登録商標で、米国特許商標局で登録されており、他の法域で登録されている場合もあります。

Apple、AppleTalk、AppleShare、EtherTalk、LocalTalk、Macintosh、および Laserwriter は、Apple Computer, Inc. の商標です。

Microsoft、Microsoft Windows NT、Microsoft Windows 2000、および Windows は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Xerox は、Xerox Corporation の登録商標です。

その他の銘柄または製品名は、各所有者の商標または登録商標です。

FCC 準拠

本マニュアルで参照されている Creo 装置は、クラス A コンピューティング デバイスに対する FCC 規定のパート 15 の必要条件に準拠しています。住宅地域における Creo 装置の運用によってラジオまたはテレビの受信に有害な干渉が引き起こされる可能性があり、そのような場合は、お客様がご自分で干渉を除去する必要があります。

責任の制限

製品、ソフトウェア、またはサービスは、「現状有姿」および「利用可能な状態」で提供されています。お客様の契約書に明白に記述されている場合を除いては、Creo, Inc. は、商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証を明示であると黙示であるとを問わず、一切負うものではありません。

Creo Inc. は以下から生じた直接的、非直接的、付随的、特殊的、間接的、または懲罰的な損害 (損害にはこれらすべてを含みますが、それだけに限りません)、利益の損失、業務上の信用、使用、データ、または無形資産の損失については一切責任を負わないことに、お客様は理解して同意されたものとします。(i) 製品またはソフトウェアの使用またはその能力の欠如、(ii) 購入された製品、商品、データ、ソフトウェア、情報、またはサービスから生じた代用の商品およびサービスの調達価格、(iii) 製品、ソフトウェア、またはデータの許諾されていないアクセスまたは変更、(iv) 第三者の声明または行為、(v) 製品、ソフトウェア、またサービスに関連するその他のいかなる事項。

本マニュアルのテキストおよび図は、説明および参照を目的として提供されています。これらが基づいている仕様は変更される可能性があります。本マニュアルの内容は、予告なしに変更されることがあります。Creo, Inc. または Creo, Inc. の子会社は、本マニュアルにおける技術上または編集上の誤りまたは脱漏の責任は一切負いません。また、付随的、間接的、非直接的、または特殊的な損害 (本マニュアルの使用から生じた使用喪失、データの損失または変更、遅延、あるいは利益または貯蓄の損失を含みますが、それだけに限りません) についても一切責任を負いません。

特許

本製品は、以下の米国特許のうちの 1 つまたは複数を対象としています。

4456924	5247352	5412737	5600448	5802034	5996499	6136509
4500919	5249067	5420702	5608822	5813346	5998067	6147789
4558302	5283140	5420722	5615282	5818498	6003442	6158345
4743091	5291273	5459505	5625766	5854883	6014471	6159659
4992864	5296935	5473733	5636330	5861904	6016752	6164637
5049901	5313278	5481379	5649220	5861992	6031932	6180325
5079721	5323248	5488906	5650076	5864651	6043865	6181362
5103407	5325217	5497252	5652804	5875288	6060208	6181439
5111308	5331439	5508828	5691823	5894342	6063528	6186068
5113249	5333064	5509561	5691828	5900981	6063546	6189452
5122871	5339176	5517359	5696393	5934196	6072518	6191882
5124547	5343059	5519852	5699174	5942137	6090529	6204874
5132723	5355446	5526143	5699740	5946426	6096461	6208369
5150225	5359451	5532728	5708736	5947028	6098544	6252522
5153769	5359458	5561691	5713287	5958647	6107011	6260482
5155782	5367360	5568595	5739819	5966504	6112663	
5157516	5367388	5576754	5742743	5969872	6115056	
5208818	5384648	5579115	5764381	5973801	6121996	
5208888	5384899	5592309	5771794	5986819	6130702	
5247174	5412491	5594556	5785309	5995475	6134393	

Creo, Inc.
3700 Gilmore Way
Burnaby, B.C., Canada
V5G 4M1
電話 : 1-604-451-2700
Fax: 1-604-437-9891
http://www.creo.com

653-00537A-JA-A
(731-00061A-JA)
最終更新日 : 2003 年 3 月

目次

このマニュアルの使用 ix

このマニュアルの対象読者 x
このマニュアルでの表記規則 x
フォント x
記号 xi
PDF ドキュメント xii
その他の情報 xii

1 安全性 1

安全な操作に関する重要な注意事項 2
安全に関する情報 2
設置 3
メンテナンス 3
安全に関する特長 4
インターロック システム 4
緊急停止スイッチ 5

2 システムの概要 7

Trendsetter NEWS システム 8
システム コンポーネント 8
出力デバイス 9
Trendsetter の安全な使用 10
Trendsetter NEWS コンポーネント 10
ロード テーブル 10
手動バイパス ドア 10
オペレータ ドア 10
オペレータ インターフェイス 11
安全パネル 13
ステータス ライト 13
アンロード テーブル 13
環境に関する仕様 14
消耗品 15
サポートされているメディア 15
複数のメディア サイズ 15
サポートされているメディア サイズ 16
メディアの寸法 16
メディアの処理 17

3 操作 19

Trendsetter NEWS の始動 20

ウォームアップ時間 20
シャット ダウン Trendsetter NEWS 21
自動操作 22
手動操作 25
出力デバイスからのイメージングされたメディアの取り外し 29
手動バイパス ドアのクローズ 29
メディアの見当 30
プレートの曲げとパンチング 30

4 メンテナンス 31

メンテナンス スケジュール 32
安全のために 34
外部面の清掃 35
清掃時の推奨事項 35
汚れの除去 36
ロード テーブルとオペレータ ドアの清掃 36
出力デバイスの内部へのアクセス 37
前面パネルの開閉 38
ファン ボックス パネルの取り外しと取り付け 40
電源ボックス パネルの取り外しと取り付け 42
出力デバイスの内部への清掃 42
エッジ検出ストリップの清掃 43
プレート ローラーの清掃 44
エア フィルタの交換 45
圧縮エア サプライ フィルタ 46
吸気フィルタ 54

5 トラブルシューティング 57

オペレータが回復可能なエラー 58
警告メッセージ 58
エラー メッセージ 58
エラーメッセージと望ましい解決法 62
[Emergency Stop (緊急停止)] スイッチのリセット 78
出力デバイスのリセット 78
出力デバイスから詰まったメディアのメディアの取り出し 79
後続エッジ クランプの移動 81
イメージ品質上の問題 84
電源の障害 84
トリップされた回路ブレーカー 84
出力デバイスの空圧の損失 85

A 部品番号 87

部品リスト 88

B ラベル 89

概要 ... 90
ID と認証ラベル ... 91
ID ラベル ... 92
クラス 1 レーザー製品ラベル ... 93
CDRH 認証ラベル ... 93
CE ラベル ... 94
CSA ラベル ... 94
FCC 認証ラベル ... 94
C-Tick ラベル ... 95
レーザーの安全性ラベル ... 96
露出ヘッド アパチュア ラベル ... 97
可動部品注意事項 / レーザー危険警告 / 放射線出力 / クラス 4 レーザー製品ラベル ... 97
非インターロック式パネル危険ラベル ... 98
ドア インターロック危険ラベル ... 99
一般的な安全性ラベル ... 100
高圧漏れ電流ラベル ... 100
安全性インターロック オーバーライド ラベル ... 101
危険電圧ラベル ... 102
過熱表面注意ラベル ... 102
可動部品ラベルに注意してください ... 103
手を触れないでください警告ラベル ... 103
インターロック故障時に可動部品に注意ラベル ... 104
ソレノイド ロック ラベル ... 104
ヒューズ交換ラベル ... 105

C 法律上の遵守事項 107

電気的および機械的な安全 ... 108
遵守の EC 宣言 ... 109
レーザーの安全性 ... 110
EMI/EMC の遵守 ... 110
ノイズの放出 ... 111

用語集 113

索引 117

このマニュアルの使用

このマニュアルの対象読者 x
このマニュアルでの表記規則 x
PDF ドキュメント xii
その他の情報 xii

このマニュアルの対象読者

このマニュアルは、Trendsetter NEWS出力デバイスを操作したり、メンテナンスをする人を対象にしています。

このマニュアルをお読みになる際は、以下の知識が必要とされます。

- 製版工程に関する実用的な知識
- Windows® オペレーティング システムの使用に必要な知識

このマニュアルは、以下を想定して記述されています。

- Creo システムのハードウェア、ソフトウェア、およびネットワーク コンポーネントがすべてインストールされ、構成されており、それらが正しく動作している。
- Creo システムに送信されたファイルには、見つからないフォントや PostScript エラーなど、事前点検中に通常は解決される エラーがない。

このマニュアルでの表記規則

このセクションでは、このマニュアルで使用されているフォント、用語、および記号について説明します。

フォント

Frutiger Bold は、ダイアログ ボックス内のボタンやその他のアイテム、ファイル名、フォルダ名、メニュー名、およびメニュー コマンドを指すために使用されます。

Minion Italic は、マニュアル内のほかの章、ブック タイトル、およびその他のマニュアルのタイトルを指すために使用されます。

[Frutiger] は、図や表のキャプションに対して使用されます。

`Letter Gothic` は、コンピュータ画面に表示されるメッセージや、ユーザーが入力しなければならない情報に対して使用されます。

SMALL CAPS は、キーボードのキーまたはキーの組み合わせに対して使用されます。

記号



危険 : この記号は明らかに危険で、回避しないと死または深刻な怪我に至る状況を示します。この記号は人体への怪我の危険が関連していない限り、物的な損害を伴う事故については警告しません。



警告 : この記号は潜在的に危険で、回避しないと死または深刻な怪我に至る可能性のある状況を示します。この記号は人体への怪我の危険が関連していない限り、物的な損害を伴う事故については警告しません。



注意 : この記号は潜在的に危険で、回避しないと死または軽傷に至る可能性のある状況を示します。これは、安全でない行為や潜在的に財産物にのみ損害を及ぼす事故についても警告します。



重要: この記号は、処理の遅れや機能性、信頼性、品質の低下の原因となる事項を示します。



備考: 考慮する必要があると思われる追加情報が提供されます。

PDF ドキュメント

このマニュアルは、PDF (Portable Document Format) 形式によっても提供されています。

PDF ドキュメントは、Adobe Acrobat Reader を使用してオンライン表示したり、印刷することが可能です。マニュアルを印刷する際は、著作権および免責条項を含めたマニュアル全体を印刷してください。

その他の情報

マニュアル、トレーニング コース、ダウンロード、およびサービスとサポートの連絡先については、www.creo.com を参照してください。

1 安全性

安全な操作に関する重要な注意事項 2
安全に関する情報 2
安全に関する特長 4

安全な操作に関する重要な注意事項



警告： Trendsetter NEWS を使用前に、このマニュアルを読み、理解する必要があります。

Trendsetter NEWS を使用する場合、すべての安全に関する注意と望ましい手順に従う必要があります。このマニュアルは、CreoTrendsetter NEWS を操作する人が誰でも読めるようにしておくことが重要です。

このマニュアルの情報を読み、理解し、従わなかった場合は、怪我または永久に身体障害に至らしめる可能性があります。

安全に関する情報

このマニュアル全体では、Trendsetter NEWSの安全な操作に関連する指示や警告が示されています。次の指示に厳密に従うことが、出力デバイスの安全な操作の上で重要です。

1. アクセス パネル インターロック システムを妨げないでください (4 ページの「インターロック システム」を参照)。
2. 認定されたメディアのみを使用してください (15 ページの「サポートされているメディア」を参照)。
3. 操作中はオペレータのドアを閉じておいてください (10 ページの「オペレータ ドア」を参照)。
4. 出力デバイスが動作中は可動部分から手や指を離してください (4 ページの「インターロック システム」を参照)。
5. 出力デバイスがシャットダウンしているときにのみ、メンテナンスを実行してください (32 ページの「メンテナンス スケジュール」を参照)。
6. 必要なときにのみアクセス パネルを開いてください (4 ページの「インターロック システム」を参照)。
7. すべてのスリップシートをメディアのイメージングの前に取り除いてください (22 ページの「自動操作」を参照)。
8. クランプ タブを正しく整列させてください (81 ページの「後続エッジ クランプの移動」を参照)。
9. 許可されない修理を行ったり、変更を行わないでください (3 ページの「メンテナンス」を参照)。

10. メディアと磁気クランプを取り扱うときは、保護グローブを着用してください (22 ページの「自動操作」を参照)。
11. 出力に水が自由に入り込まないようにしてください (35 ページの「外部面の清掃」を参照)。
12. 化学洗剤を定期的に使用しないでください (36 ページの「汚れの除去」を参照)。
13. ペースメーカーを使用している場合は、磁気クランプの取り扱いに注意してください (79 ページの「出力デバイスから詰まったメディアのメディアの取り出し」を参照)。

すべての危険、警告、および注意は、安全上の情報を提供するものです。危険、警告、および注意を無視すると、人体に怪我を負ったり、機器が損傷する恐れがあります。

火事の場合の対応

出力デバイスで出火した場合、電源をオフの位置にしてください。21 ページの図 8 を参照してください。

設置

出力デバイスの設置と初期稼動は、認定されたサービス代理店により実行されなければなりません。出力デバイスがインストールされ、それがオンになっているとき、操作環境と接続の要件が満たされていることを確認してください。

メンテナンス

第 4 章「メンテナンス」に記載されたメンテナンス手順に沿ってのみメンテナンスを行ってください。ほかのメンテナンス手順を実行したり、何らかの理由でカバーや筐体を取り外した場合には、怪我をする恐れがあります。ほかのメンテナンスやすべてのサービス作業は、認定されたサービス代理店のみが行うようにしてください。



危険 : 出力デバイスに許可のないパネルの取り外し、修理、または変更を行うと、高電力レーザー放射線、可動機械部品または電気的なショックの危険にさらされる可能性があり、結果として不快感、疾病、怪我、身体的障害を及ぼす可能性があります。

安全に関する特長

インターロック システム

出力デバイスにはインターロック システムが装備されています。これは、ユーザーを次のものから怪我から守ります。

- 可視および不可視の高電力レーザー放射線。
- 可動機械部品。

露出ヘッドからのレーザーの放出は裸眼では目に見えませんが、皮膚や目に接すると非常に危険です。出力デバイスが稼動中にアクセス パネルを開いたり、取り外す場合、インターロック システムは次のことを行います。

- すべての機械的な動作を中断する。
- レーザーの電力をオフにする。

アクセス パネルを開いたり、取り外すとき機械的動作が停止しない場合、以下のとおり行ってください。

1. アクセス パネルを閉じるか、交換する。
2. 出力デバイスをシャットダウンする。
3. できるだけ早く認定されたサービス代理店に連絡する。

出力デバイスの内部部品に触れたり、停止しようとしないでください。



注意： 出力デバイス アクセス パネルを開いたり、取り外したり、交換することに関しては、このマニュアルの安全上の推奨事項と手順に特別な注意を払ってください。注意を無視すると、人体に影響を負ったり、機器が損傷する恐れがあります。



危険： アクセス パネルが開いたまま出力デバイスを操作しようとしないでください。また、出力デバイスがメディアをイメージングしている間に、アクセス パネルを開いたり、取り外したりしないでください。インターロック システムを妨害することにより、可視または不可視の高電圧レーザー放射線、電気的ショック、および可動機械部品による深刻な人体への影響を及ぼす可能性があります。

緊急停止スイッチ

緊急停止スイッチは、それを押すと、すべてのマシンの操作を中断する安全装置です。前面パネルの下の出力デバイスの内側にあります。

認定されたサービス代理店のみが使用するために用意されています。このスイッチを間違って押してしまった場合は、出力デバイスを通常の操作に戻す前にそれをリセットしてください。

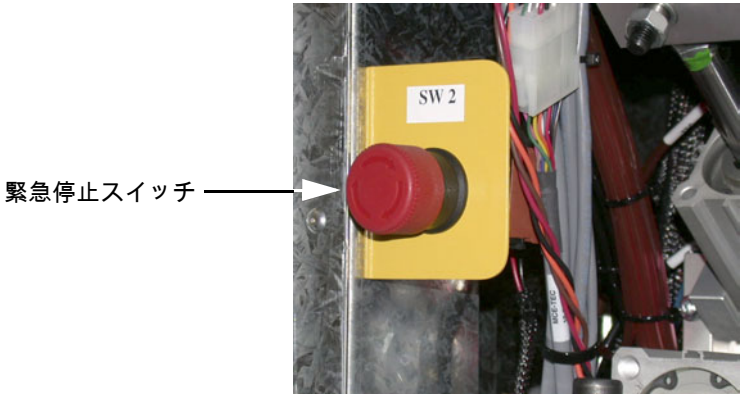


図 1: 緊急停止スイッチ

緊急停止スイッチをリセットする方法については、78 ページの「[Emergency Stop (緊急停止)] スイッチのリセット」を参照してください。

緊急停止スイッチの使用法について質問がある場合は、出力デバイスのシリアル番号を書きとめ、認定されたサービス代理店に問い合わせてください。シリアル番号は ID ラベルに書かれています (このラベルはエア サプライ フィルタの隣の右下のバック パネルにあります)。このラベルの例については、92 ページの 図 41 を参照してください。

2

システムの概要

Trendsetter NEWS システム 8

システム コンポーネント 8

出力デバイス 9

Trendsetter の安全な使用 10

Trendsetter NEWS コンポーネント 10

環境に関する仕様 14

消耗品 15

サポートされているメディア 15

Trendsetter NEWS システム

Trendsetter NEWSは高速の自動プレートセッタシステムです。新聞のプレートセッタ用に最適化されたTrendsetter NEWSは、ダブル幅 (パノラマ) 形式のプレートの自動ロード/アンロード、または 2枚のシングル幅 (ブロードシート) 形式のプレートの同時ロードを特長としています。イメージ プレートは自動的にプレートプロセッサ、スタッカー、パンチ/ベンダーに送られます。このメディアは、手動バイパス モードを使用してイメージングすることもできます。

システム コンポーネント

Trendsetter NEWSシステムは出力デバイス、ワークステーション、および Print Console ソフトウェアから構成されています。

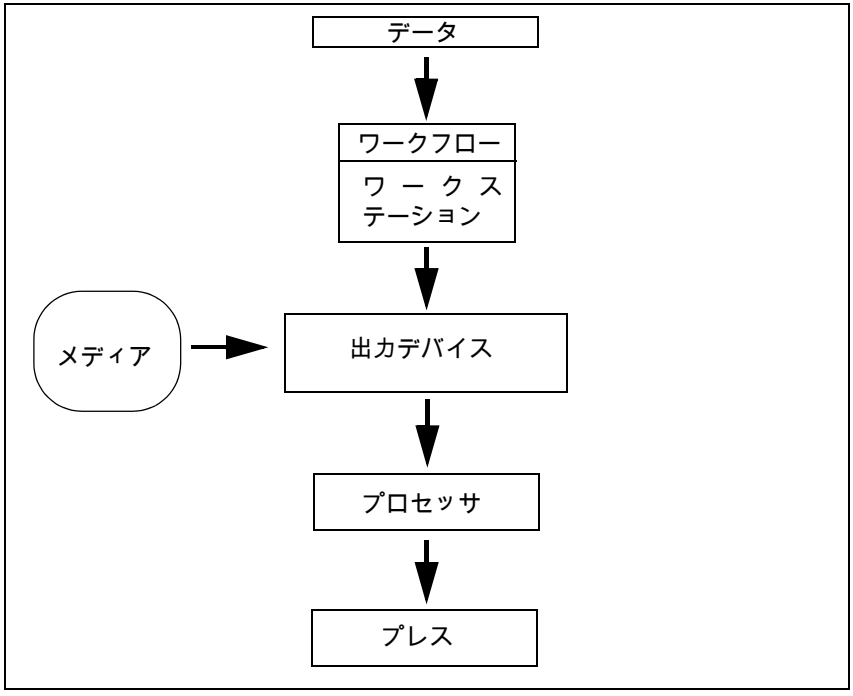


図 2: Trendsetter NEWS をコンポーネントに分解した図

このマニュアルには、出力デバイスに関する情報のみが含まれています。ソフトウェアのドキュメントについては、『*Print Console* クィック スタート ガイド』と Print Console オンライン ヘルプを参照してください。

出力デバイス

このマニュアルは出力デバイスを自分の前に置いて操作することを前提に書かれています。図 3 は、出力デバイスの主な部品を示します。

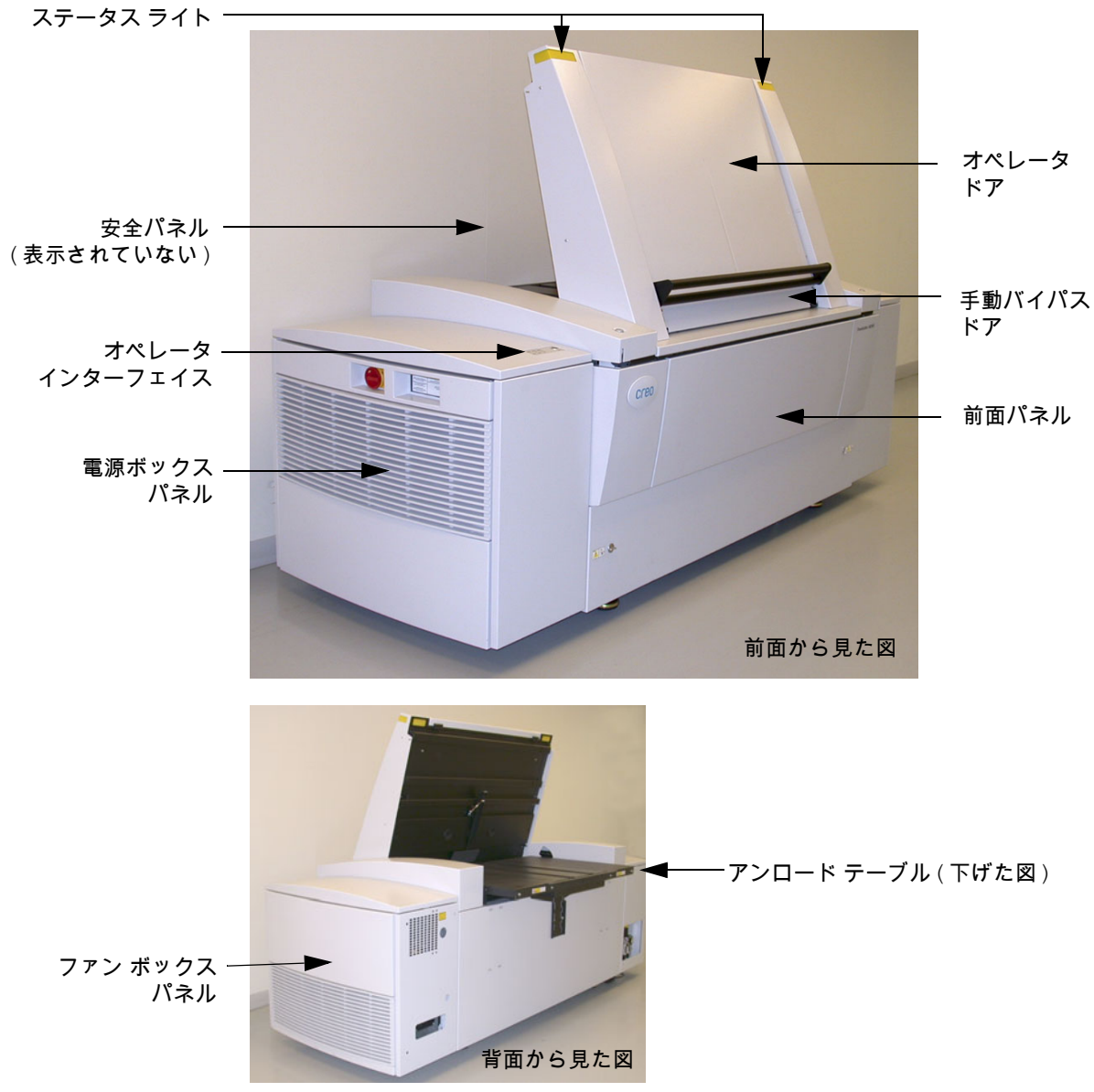


図 3: 出力デバイスの部品

Trendsetter の安全な使用

安全のために、アンロード テーブルには安全パネルと可聴警告シグナルが装備されています。アンロード テーブルが水平の位置まで下げられるとき、または立てるように持ち上げられたとき、耳に聞こえる警告音が鳴ります (14 ページの 図 5 を参照)。



注意： 警告音が聴こえるとき、アンロード テーブルから手や指を離してください。

追加の保護手段として、安全パネルはアンロード テーブルの左側と右側にあります。これらのプレキシグラス パネルは、アンロード テーブルが下がっていたり、上がっているときに、アンロード テーブルの内側の可動部品による怪我が起こらないように保護する上で役立ちます。

Trendsetter NEWS コンポーネント

Trendsetter NEWS出力デバイスには、以下のコンポーネントが含まれます。これらのコンポーネントの場所については、9 ページの 図 3 を参照してください。

ロード テーブル

ロード テーブルはオペレータ ドアの後ろにあり、自動操作のときに、Trendsetter NEWSへのメディアのエントリ ポイントになります。メディアはロード テーブルからピックされ、ドラム上でイメージングされます。

手動バイパス ドア

この小さなドア (オペレータ ドアのすぐ下) は、自動操作のときには閉じ、手動操作のときには開けておかなければなりません。

オペレータ ドア

それを開いてロード テーブルにアクセスします。大きなドアはライトから熱メディアを保護し、内部可動部品からオペレータを保護します。

手動によるメディアのロードでは、オペレータ ドアを閉じると、手動バイパスとして機能します。

オペレータ ドアは、次のような場合に開かないでください。

- 出力デバイスがロード テーブルからメディアを取り出しているとき。オペレータ ドアがイメージング中に開いていると、出力デバイスは現在のジョブを完了しますが、それ以降は続行しません。
- オペレータ インターフェイスのロード ライトが点滅しているとき。ロード ライトの詳細については、11 ページの「オペレータ インターフェイス」を参照してください。

手動バイパス

手動バイパス モードでは、出力デバイスに個々のメディアを手動でロードし、イメージングすることができます。Print Console で選択されたメディアのタイプに応じて、イメージング データはオペレータ ドアにアンロードされます。

まず、オペレータ ドアを最初に開き、手動バイパス ドアを開き、その後、オペレータ ドアを閉じることにより、手動操作の出力デバイスを設定します (25 ページの「手動操作」を参照)。

オペレータ インターフェイス

オペレータ インターフェイスは、出力デバイスのステータスを示します。オペレータ インターフェイスのライトが点滅している場合、出力デバイスはタスクを実行中であるか、タスクの実行準備ができています。ライトが点灯したままの場合、インターフェイスは出力デバイスのステータスのみを伝達します。

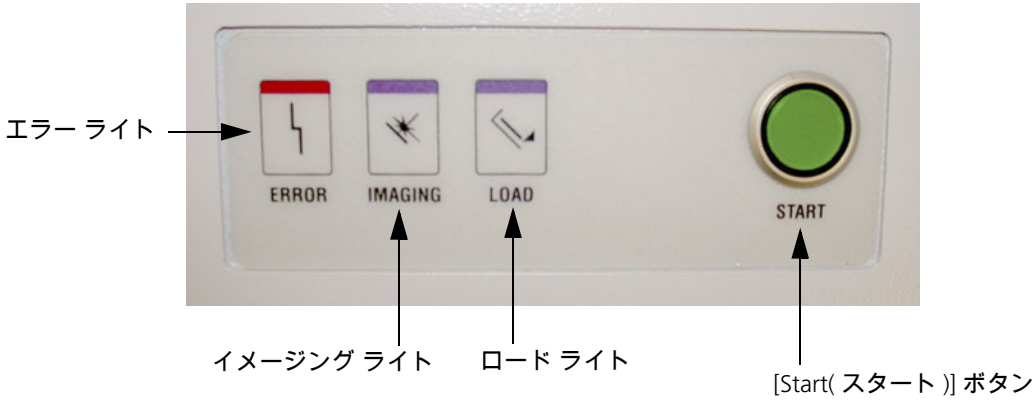


図 4: オペレータ インターフェイス

表 1: インターフェイス ライト

ライトの種類	状態	意味	必要なオペレータの操作
エラー ライト	白の点滅 ステータス ライトは、エラー ライトも点滅させます。	エラーが発生し、ジョブが中断されます。	Print Console に表示された指示に従ってください。エラーが解決すると、エラー ライトとステータス ライトの点滅が止まります。 詳細については、58 ページの「オペレータが回復可能なエラー」を参照してください。
	オフ	出力デバイスがエラーなしで操作中です。	オペレータの操作は必要ありません。
イメージング ライト	緑の点滅	出力デバイスはメディアをイメージングしています。	オペレータの操作は必要ありません。イメージング ライトは、イメージングが進行中だることを示す場合のみ点滅します (自動モードと手動モードの両方)。 注意 : 手動操作中、デバイスはデバイスのイメージングされたメディアがアンロードされ、ロード ライトが再びオンになるまで、別のメディアを受け付けることはできません。
	オフ	出力デバイスはイメージングしていません。	オペレータの操作は必要ありません。
ロード ライト	緑の点灯	自動モードのみ : • 出力デバイスはイメージングのためのメディアの受付準備ができています。 • 出力デバイスは、オペレータがメディアをアンロードするのを待っています。	イメージング プロセス中にメディアのアンロードをします。 ライトはイメージング プロセス全体を通じて点灯したままになります。つまり、ジョブが承認されてから、最終メディアがアンロードされるまでです。
	緑の点滅 約 10 秒経過後、ライトは点滅を停止し、可聴ビープ音が聴こえます。	手動モードのみ • 出力デバイスでメディアの準備ができています。	メディアの手動ロードは、登録ピンにメディアをセットし、メディア ラベルとそれを整列させます。 注意 : 手動操作中、デバイスはデバイスのイメージングされたメディアがアンロードされ、ロード ライトが再び緑の点灯になるまで、別のメディアを受け付けることはできません。
	オフ	出力デバイスはイメージングしていません。	オペレータの操作は必要ありません。

[Start(スタート)] ボタン

このボタンは手動オペレーションの場合のみ使用します (このボタンは状態を示すために点灯したり、点滅しません)。

手動でメディアをロードした後で (登録ピンにメディアをセットし、メディア ラベルにメディアを整列させる)、[Start(スタート)] ボタンを押してイメージングプロセスを開始します。

安全パネル

安全パネルは、アンロード テーブルの片側にあります。これらのプレキシグラスのパネルは、アンロードテーブルを下げたり、縦の位置に上げたときに怪我が起きないように保護します (14 ページの 図 5 を参照)。



注意： 安全パネルにより保護されている領域に手を伸ばさないようにしてください。ロード テーブルに関連する機械的な危険があります。この注意に従わないと、人体に怪我を及ぼしたり、機器が損傷する恐れがあります。

ステータス ライト

ステータス ライトは、エラーが起きるたびに点滅します。エラーを修正するためには、オペレータの操作が必要であることを示します。エラーが解決すると、ステータス ライトがオフになります。

アンロード テーブル

アンロード テーブルはメディアの出口点です。イメージングされたメディアはテーブルに排出されます。メディアが完全に排出されると、アンロード テーブルは水平位置に下げられます。

アンロード テーブルが上または下に動くと、警告音が鳴ります。



注意： 水平位置に下げるときや縦の位置に上げるときに、アンロード テーブルから手や指を離すように気をつけてください。アンロード テーブルに関連した機械的な危険があり、人体への影響や機器への損傷を与える可能性があります。

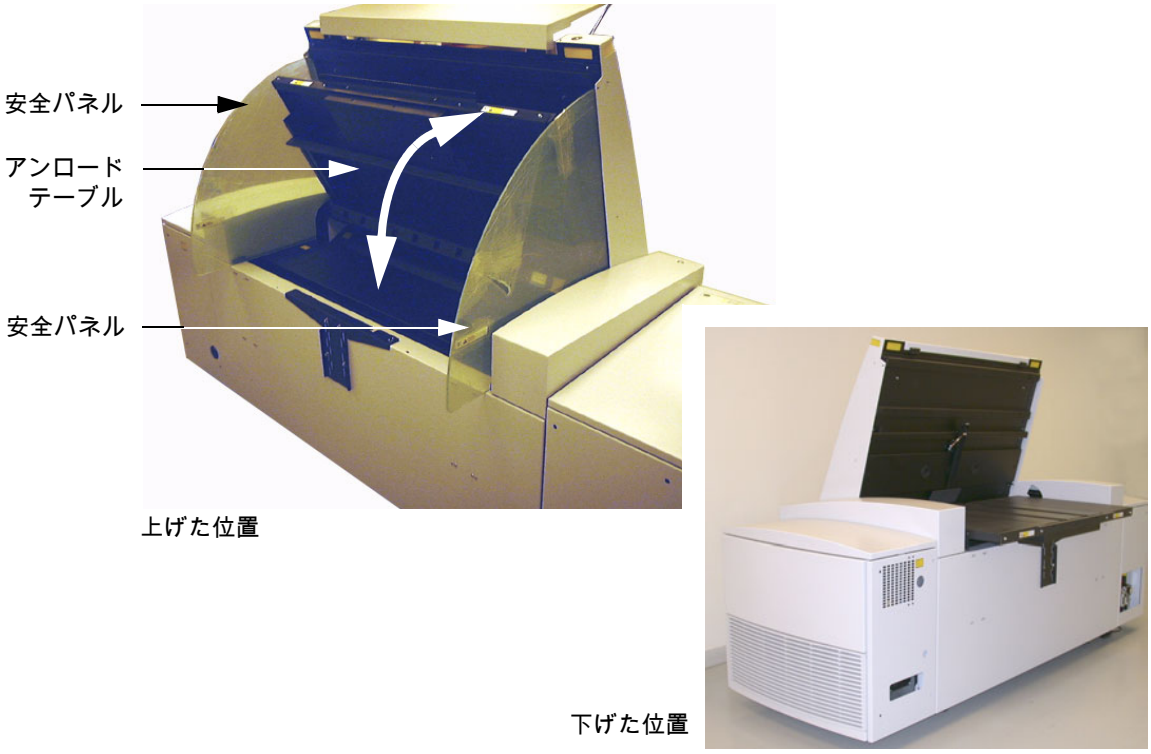


図 5: アンロード テーブル

環境に関する仕様

Trendsetter NEWSは、クリーンなプリプレス領域にインストールされなければなりません (*Trendsetter NEWS*サイトの準備と要件に関するドキュメント、Creo ドキュメント番号 73-3363)。

出力デバイスがインストールされ、使用中のときに、オペレーティング環境と接続要件が満たされていることを確認してください。

Trendsetter NEWSのオペレーティング環境の要件は、次のとおりです。

- 温度: 17°C–30°C (63°F–86°F)
- 湿度: 20%–70% RH、凝結なし

オフィス環境におけるノイズの放出に関しては、111 ページの「ノイズの放出」を参照してください。

必要な操作条件

出力デバイスは被爆熱ヘッドを使用し、サーマル メディアをイメージングするため、暗室は必要ありません。

消耗品

Trendsetter NEWSで使用する消耗品材料は、次のものから構成されます。

表 2: 消耗品材料

品目	説明
フィルタ	空気の質を維持するために出力デバイスに使用される多くのフィルタ。詳細については、45 ページの「エア フィルタの交換」を参照してください。
メディア (版)	詳細については、サポートされているメディア サイズを参照してください。
プロセッサ消耗品	プロセッサの消耗品に関連する情報については、メーカーの資料を参照してください。

サポートされているメディア

複数のメディア サイズ

設置時に、出力デバイスは使用するメディアのタイプに合わせて設定されます。

Print Console のメディア サイズを後で変更できます。詳細については、Print Console オンライン ヘルプを参照してください。Trendsetter NEWSによりサポートされているメディア サイズのリストについては、16 ページの「サポートされているメディア サイズ」を参照してください。

サポートされているメディアに関する最新情報は、認定されたサービス代理店にお問い合わせください。

サポートされているメディア サイズ

表 3: サポートされているメディア サイズ

最大サイズ	最小サイズ	厚さ
660 mm x 960 mm 26" x 37.8" *	229 mm x 305 mm 9" x 12"	0.15 mm ~ 0.3 mm 0.006" ~ 0.012"

* [Full(フル)] または [Wide(ワイド)] オプションを購入しない限り。詳細については、Trendsetter NEWS製品仕様書シートを参照してください。

メディアの取り扱いに関する情報は、22 ページの「自動操作」を参照してください。

メディアの寸法

次のメディアの寸法が、Trendsetter NEWSに適用されます。それらは、プレスにメディアを載せるなど、他のプレスルームの操作で定義したメディア寸法を適用しない場合があります。

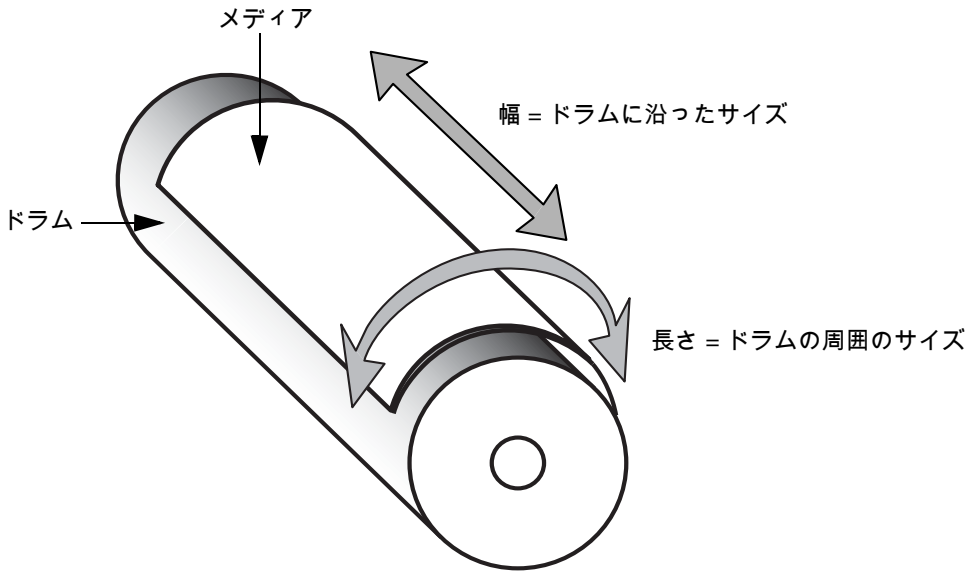


図 6: メディア寸法 - 横方向



重要: 出力デバイスはドラムに沿ったメディアのサイズを測定しません。メディアの長さ (ドラムの周囲) が正しいが、幅 (ドラムに沿った) が Print Console で選択したメディア サイズに対応していない場合、出力デバイスはそのまま続行し、メディアをイメージングするか、エッジ検出エラーが発生します。これによって、出力デバイスが損傷を受けることはありません。しかし、出力デバイスは正しくないサイズのメディアがイメージングされたことを通知しません。

メディアの処理

Trendsetter NEWSによりサポートされているメディアの一部には、イメージング後に処理が必要なものがあります。メディアの処理については、メディアのメーカーのドキュメントを参照してください。

3

操作

Trendsetter NEWS の始動 20
シャット ダウン Trendsetter NEWS 21
自動操作 22
手動操作 25
メディアの見当 30

Trendsetter NEWS の始動

ウォームアップ時間

Trendsetter NEWS出力デバイスはオンにしてからウォームアップするのに最大 2 分間かかります。出力デバイスがウォームアップ中は、メディアをイメージングできません。イメージングのために提出されたファイルは、出力デバイスの準備が完了するまでワークステーションで待機します。

Trendsetterシステムを始動する

1. 出力デバイスをオンにします。

   電源スイッチは電源ボックス パネルの一番上にあります。電源スイッチを時計回りに回してください。



図 7: 電源スイッチをオン ポジションまで回します

2. ワークステーションをオンにします。

   ワークステーションをオンにするための詳細については、ワークステーションと共に受け取った資料を参照してください。

3. Print Console の始動

   Print Console の始動については、『*Print Console* クィック スタート ガイド』を参照してください。

出力デバイスが準備完了のとき、オペレータ インターフェイスのロード ライトが緑に点灯します。

シャット ダウン Trendsetter NEWS

通常は、ワークステーションを常に実行中にしておきます。

Print Console の終了に関しては、Print Console オンライン ヘルプを参照してください。

備考：出力デバイスをシャットダウンする前に、ドラムからすべてのメディアを取り除きます。

出力デバイスをシャットダウンする

➢ 電源スイッチを使用して出力デバイスをオフにします。

電源スイッチは電源ボックス パネルの一番上にあります。電源スイッチを反時計回りに回してください。

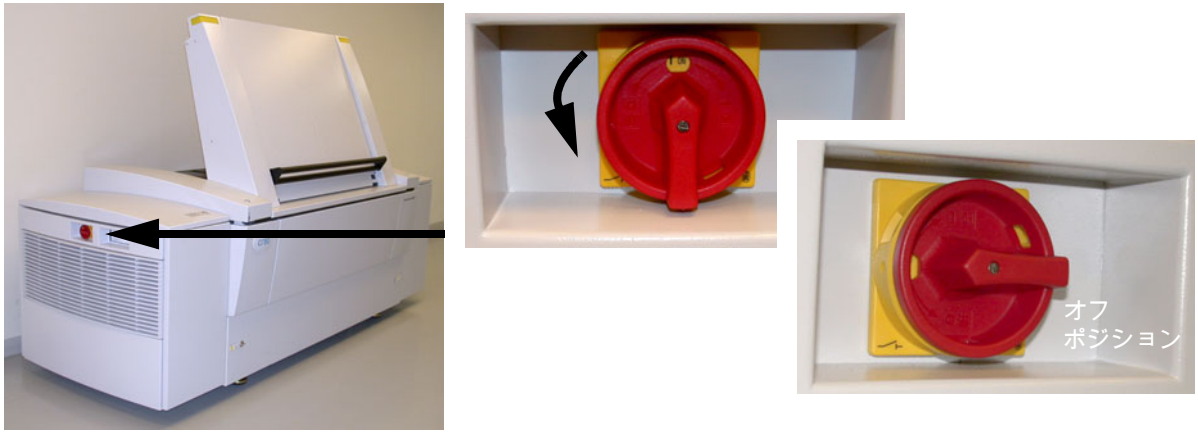


図 8: 電源スイッチをオフ ポジションまで回します

自動操作

自動操作の場合には、次のものをロードできます。

- 0.15 mm (0.006") メディア。最大 120個のダブル ワイド (パノラマ) 形式、または最大各 120 個のシングルワイド (ブロードシート) プレートを 2 スタック
- 0.3 mm (0.12") メディア。最大 60個のダブル ワイド (パノラマ) 形式、または最大各 60 個のシングルワイド (ブロードシート) プレートを 2 スタック



備考: ロード テーブルにメディアを置く前または後のいずれかに、すべてのスリップ シートを取り除きます。詳細については、23 ページの注意を参照してください。

ロード テーブルにメディアを置く前または後のいずれかに、イメージングするファイルを送ることができます。ファイルの送信については、Print Console オンライン ヘルプを参照してください。



注意: プレートのエッジは鋭い可能性があります。保護グローブを着用しないと、怪我をする可能性があります。

自動操作のために複数メディアをロードする

1. 出力デバイスはイメージングのためのメディアの受付準備ができていることを確認します。

   この意味は次のとおりです。

   - Print Console メッセージは、ロードするメディアのタイプと種類を示します。

     備考: イメージングするファイルを送信していない場合には、メッセージは表示されません。

   - オペレータ インターフェイスのロード ライトは緑に点灯したままになります。

2. ロードするメディアのサイズとタイプを判別し、シングルまたはダブル スタックをロードするかを判別してください。

   備考: 450 mm (17.7") またはそれ以下の幅のプレートは、シングル幅 (ブロードシート) 形式のプレートであるとみなされます。

3. オペレータ ドアを持ち上げます。

   このドアはガス ストラッツによりサポートされ、ゆっくりと上に上がります。



図 9: オペレータ ドアを開きます。

4. グローブを着用し、パッケージから 1 つまたは複数のメディアを取り外します。メディアに付着しているパッケージ材料を破棄します。

備考: ロード テーブルにメディアを置く前または後のいずれかに、すべてのスリップ シートを取り除きます。

注意： 出力デバイスでプレートをイメージングする前に、すべてのスリップ シートとパッケージ材料がプレートから取り除かれていることを必ず確認してください。そうしないと、サーマル レーザーが紙に点火し、出力デバイスで火事が起こります。

5. ロード テーブルにメディアを置きます。

   ロード テーブルのメディア整列ラベルを使用して、正確にメディア スタックを配置します。

備考: プレートのイメージング面 (エマルジョン面) が自分の方を向いていることを確認します。プレートでは、エマルジョン面が通常は艶消し面になっています。

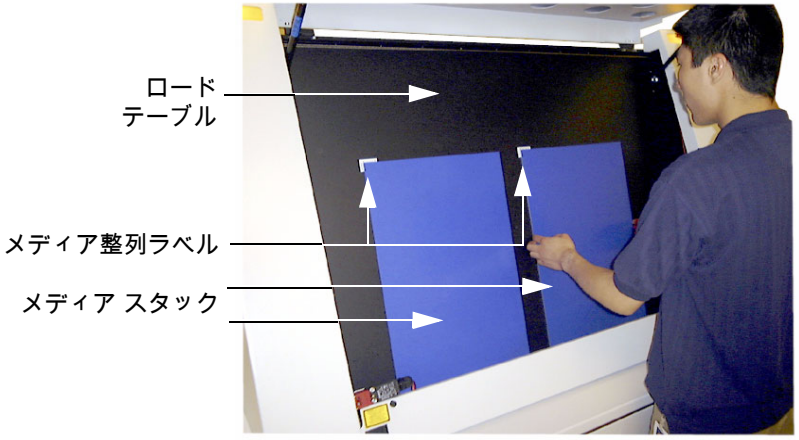


図 10: メディアのロード

6. メディアが正しくロードされている場合、オペレータ ドアを閉じます。



図 11: オペレータ ドアを閉じます。

備考: 自動操作を開始するためにはオペレータ インターフェイスの [Start(スタート)] ボタンを押す必要はありません。

自動メディア ロードは、Print Console にファイルを送信するまで始まりません。すでに、イメージングするファイルを送信している場合、自動メディア ロードが直ちに開始します。ファイルの送信手順については、Print Console オンライン ヘルプを参照してください。

ファイルが送信されると、ロード テーブルの最初のメディアは自動的にロードされます。(2 個のメディア スタックがロード テーブルに配置されている場合、メディアは同時に 2 つロードされます。)イメージングされたメディアはアンロード テーブルにイジェクトされ、プレート プロセッサまたはスタッカーに送られます。(同様、2 つのメディア スタックが使用されている場合、メディアは同時に 2 個アンロードされます。)

最初のメディアがプロセッサまたはスタッカに送られている間、ロード テーブルに次のメディアがロードされます。出力デバイスは異なるメディア サイズが必要になるか、ロード テーブルが空になるか、イメージングまたはメディアの取り扱い時にエラーが発生するまで、メディアをロードし、イメージングを続行します。

手動操作

自動的なマルチメディア ロードが必要でないか、現実的でない状況で、出力デバイスは、手動メディア ロードをサポートします。単一の手動でロードしたメディアを配置し、整列させるために、ロード テーブルのオペレータ ドアを使用します。



備考： Trendsetter NEWS システムは、手動ロード機能を使用するために、あらかじめ手動メディア -ロードに対して設定することが必要です。単一メディアを手動でロードする前に、ロード テーブルからメディアを取り除く必要はありません。



注意： プレートのエッジは鋭い可能性があります。保護グローブを着用しないと、怪我をする可能性があります。

イメージングのためのメディアの手動ロード

1. Print Consoleでは、次のように行います。
   a. **[Configuration(設定)]** ボタンをクリックし、**[Print Setups(プリント設定)]** をクリックします。
   b. 手動ロードに使用するメディアのサイズを選択し、**[Make Default(デフォルトに設定)]** をクリックします。
   c. **[Manual Bypass(手動バイパス)]** チェックボックスを選択し、**[Apply(適用)]** をクリックします。

2. オペレータ ドアを持ち上げます。

   このドアはガス ストラッツによりサポートされ、ゆっくりと上に上がります。



図 12: オペレータ ドアを開きます。

3. 手動バイパス ドアを開きます。

   同時にリリース メカニズム (ドアのそれぞれの端に 1 つずつ) を手前に引き、ドアを下げます。



図 13: 手動バイパス ドアを開きます。

4. オペレータ ドアを閉じます。

5. 手動バイパス ドアを閉じます。

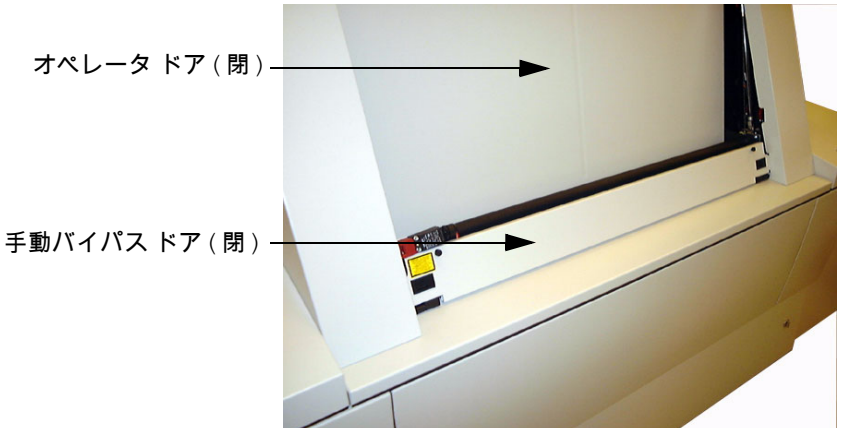


図 14: 手動バイパス ドアの設定

出力デバイスは、手動操作の準備ができました。

6. Print Console で、イメージングするファイルを送信します。

   詳細な手順については、Print Console オンライン ヘルプを参照してください。

7. 出力デバイスはイメージングのためのメディアの受付準備ができていることを確認します。

   この意味は次のとおりです。

   - Print Console メッセージは、ロードするメディアのサイズと種類を示します。
   - オペレータ インターフェイスのロード ライトが緑で点滅します。数秒後、可聴ビープ音が聴こえます。メディアをロードするよう指示メッセージが表示されます。

8. 可聴ビープ音が聴こえたら、グローブを着用し、パッケージからメディアを取り出します。

   メディアに付着しているパッケージ材料を破棄します。



注意 : 出力デバイスでメディアをイメージングする前に、すべてのスリップ シートとパッケージ材料がメディアから取り除かれていることを必ず確認してください。そうしないと、サーマル レーザーが紙に点火し、出力デバイスで火事が起こります。

9. Print Console で指示メッセージが表示されたら、メディアをオペレータ ドアのドアとドア ハンドルの間に配置します。



備考: プレートのイメージング面 (エマルジョン面) が自分の方を向いていることを確認します。プレートでは、エマルジョン面が通常は艶消し面になっています。



注意 : Print Console の指示メッセージが表示されるまで、メディアをロードしないでください。メディアをドラムに下げるタイミングが早すぎると、メディアや出力デバイスに損傷を与える可能性があります (ドラムが回転している場合)。

10. オペレータ ドアにメディアを整列させます。



備考: オペレータ ドアの整列ラベルは、メディアの左上端を合わせる場所を示します。この方法でメディアを整列させると、見当ピンにぴったりと合うようになります。

11. メディアを出力デバイスに向かって、オペレータ ドアのベースが見当ピンに触れるまでゆっくりと下ろします。



図 15: メディアの位置を出力デバイスの中で下げます。

12. メディアをリリースします。



重要 : [Start(スタート)] ボタンを押すときに、メディアに触れないでください。

13. [Start(スタート)] ボタンを押します。

Trendsetter NEWSがロードされ、メディアがイメージングされます。

メディアはオペレータ ドアの元の位置に戻ってアンロードされます。

出力デバイスからのイメージングされたメディアの取り外し

出力デバイスからのイメージングされたメディアの取り出し

1. 出力デバイスがメディアのイメージングを完了したことを確認します。

   イメージングが完了すると、ロード ライトが緑に点灯し、メディアはオペレータ ドアの元の位置に戻ってアンロードされます。



注意：プレートの端は鋭くなっています。保護グローブを着用しないと、怪我をする可能性があります。

2. グローブを着用し、メディアの端をつかみます。メディアを上に持ち上げ、オペレータ ドアから注意深く取り外します。



備考: オペレータ ドア上でメディアを引きずらないようにすることで、メディアの傷を防ぐことができます。

手動バイパス ドアのクローズ

自動操作用に出力デバイスを準備するために、手動バイパス ドアを再び閉じてください。

手動バイパス ドアを閉じるために、次の手順に従ってください。

1. オペレータ ドアを持ち上げます。
2. 手動バイパス ドアを閉じます。

   ドアを閉じたポジションでロックすると、リリース メカニズムのスナップ音が聴こえます。

3. Print Consoleでは、次のように行います。

   a. **[Configuration(設定)]** ボタンをクリックし、**[Print Setups(** プリント設定 **]** をクリックします。

   b. 自動操作に使用するメディアのサイズを選択し、**[Make Default(**デフォルトに設定**)]** をクリックします。

   c. **[Manual Bypass(**手動バイパス**)]** チェックボックスをクリアし、**[Apply (**適用**)]** をクリックします。

   出力デバイスは、自動操作の準備ができました。

メディアの見当

メディア整列ラベルは、設置時に出力デバイスのロード テーブルとオペレータ ドアに貼り付けられています。貼り付けられていない場合は、出力デバイスのラベルを自分で貼り付けてください (認定されたサービス代理店の支援を受けてください)。これらのラベルは、自動操作のロード テーブルと手動操作のオペレータ ロードなど、ロード中にメディアの整列を助けるガイドラインの機能を果たします。出力デバイスのレーザーは、より正確な見当を行います。レーザー光線は、次のような場合、25 ミクロン内に見当を修正します。

- ロード テーブル/オペレータ ドアの正しい位置から 3 mm (0.125î) 以内にメディアをロードします。メディア整列ラベルが貼られている場合、それを使用して素早く正しい位置を識別します。
- メディアをロード テーブル/オペレータ ドアの基礎の見当ピンに合わせて置きます。これらのピンは、ドラム上にメディアの見当が正しく配置されるように保証します。

これらの手順を実行すると、メディア エッジの検出がより高速に行われるため、全体的なイメージング時間が短くなります。

プレートの曲げとパンチング

既存のプレートの曲げとパンチングの機器が、出力デバイスの見当ポイントに合うように設定されていることを保証してください。*Trendsetter NEWS* ファミリ サイトの準備と要件の資料 *(Creo* 資料番号 *73-3363)* を参照してください。

詳細については、認定されたサービス代理店までお問い合わせください。

4 メンテナンス

メンテナンス スケジュール 32
安全のために 34
外部面の清掃 35
出力デバイスの内部へのアクセス 37
出力デバイスの内部への清掃 42
エッジ検出ストリップの清掃 43
プレート ローラーの清掃 44
エア フィルタの交換 45

メンテナンス スケジュール

33 ページのï 4は、出力デバイスから最適なパフォーマンスと品質を達成するために必要なメンテナンスを概説します。このメンテナンスを実行しない場合、パフォーマンスが劣化し、出力デバイスに深刻な損害を与える可能性があります。スケジュールされたダウンタイムが数時間必要ですが、定期的なメンテナンスにより出力デバイスが適切に維持され、予定外の故障を最小限に抑えます。

出力デバイスのメンテナンスを実行するときに記録をとります。

Creo サービス契約を締結している場合、認定されたサービス代理店により 6 ヶ月ごとの定期的なサービスを計画してください。しかし、操作状況がより頻繁なメンテナンスを必要とする場合、サービスの前にメンテナンス手順を実行することを強くお勧めします。



警告： メンテナンス手順を実行する前に、出力デバイスがメディアをイメージングしていないことを確認してください。その後、出力デバイスをシャットダウンしてください。



危険： アクセス パネルが開いたまま出力デバイスを操作しようとしないでください。また、出力デバイスがメディアをイメージングしている間に、アクセス パネルを開いたり、取り外したりしないでください。インターロック システムを妨害することにより、可視または不可視の高電圧レーザー放射線、電気的ショック、および可動機械部品による深刻な人体への怪我を及ぼす可能性があります。

表 4: 推奨メンテナンス手順のスケジュール

場所	説明	メンテナンス手順	清掃	交換毎 ...
出力デバイス エクステリア	エクステリア面	35 ページを参照してください。	毎週	非適用
ロード テーブル	ロード テーブル	36 ページを参照してください。	毎週	非適用
オペレータ ドア	オペレータ ドア	36 ページを参照してください。	毎週	非適用
エッジ検出ストリップ (2)	ドラムのエッジ検出ストリップ	43 ページを参照してください。	毎 3 ヶ月	非適用
プレート ローラー	メディアのロード中にドラムにメディアを保持するゴム製のローラー	44 ページを参照してください。	毎月	非適用
右下のバック パネルの圧縮エア サプライ フィルタ	ï 5 µm フィルタ ï 0.01 µm フィルタ	48 ページを参照してください。 参照するもの 51 ページ 参照するもの 47 ページ	毎週 水または油のフィルタ ボールもチェックします。	6 ヶ月 6 ヶ月 ヒビが入ったとき
ファン ボックス パネル内の吸気フィルタ	吸気プリフィルタ	54 ページを参照してください。	非適用	6 ヶ月

交換の詳細については、付録 Aの 「部品番号」を参照してください。

安全のために

出力デバイス アクセス パネルは、レーザー放射と可動機械部品からの怪我から保護するインターロック システムを装着しています。出力デバイスが動作中にパネルが開いたり、取り外された場合、すべての機械的可動部品が活動を停止します。機械的な動作が停止しない場合、次の手順に従ってください。

1. 出力デバイスをシャットダウンする。
2. アクセス パネルを閉じるか、交換する。
3. 認定されたサービス代理店に問い合わせてください。

出力デバイスの内部部品に触れたり、停止しようとしないでください。



危険： アクセス パネルが開いたまま出力デバイスを操作しようとしないでください。また、出力デバイスがメディアをイメージングしている間に、アクセス パネルを開いたり、取り外したりしないでください。インターロック システムを妨害することにより、可視または不可視の高電圧レーザー放射線、電気的ショック、および可動機械部品による深刻な人体への怪我を及ぼす可能性があります。

外部面の清掃

毎週、Trendsetter NEWSの外部を清掃します。

出力デバイスの外部面の清掃は、外観と仕上げを保存し、視覚的なインジケータとマークが明確に見えることを保証します。もっとも重要なことは、定期的な清掃により、アクセス パネルが取り外されるか、開いたときにデバイスに落ちる埃の量が減ります。埃の蓄積に最も敏感な部分は、ファン ボックス パネルと電源ボックス パネル、およびマシンの内部にアクセスするために持ち上げる前面パネルです。

信頼性の高い、高品質の出力は、出力デバイスの外部をクリーンに保つことを前提としています。

清掃時の推奨事項

出力デバイスの外部面を清掃する前に、すべてのアクセス パネルのシームを掃除機で吸い上げ、蓄積した埃を取り除きます。頻繁に行い、環境が相対的に乾燥していて、蒸気が少ない場合、乾いた布で面を簡単に拭くだけでも十分な場合もあります。清掃を徹底的に行うときは、水と中性洗剤で浸した布を使用します。きれいな、ぬれた布で、すべての残った洗剤を徹底的にふき取ってください。



危険 : 出力デバイスの内側には水が入り込まないようにしてください。水が入り込むと、怪我をしたり、感電し、機器に損傷を与えることがあります。

汚れの除去

出力デバイスの外部面から汚れ (インクなど) を除去するためには、水と中性洗剤を浸した布で汚れを直ちにふき取ってください。きれいな、ぬれた布で、すべての残った洗剤を徹底的にふき取ってください。中性洗剤と水では汚れが落ちない場合、汚れを除くために少量のアセトンを使用してください。

注意： 出力デバイスの外部に損傷を与える可能性があるため、通常の化学洗剤を定期的に使用するのを避けてください。アセトン製造業者からのすべての指示を読み、従ってください。そうしないと、怪我をしたり、機器に損傷を及ぼす可能性があります。

ロード テーブルとオペレータ ドアの清掃

きれいな濡れた布で毎週、ロード テーブルとオペレータ ドアを清掃してください。

注意： ロード テーブルやオペレータ ドアに直接、水を吹きかけないでください。出力デバイスの内部に水が入り込み、損傷を与える可能性があります。まず、布を水で濡らし、表面を拭いてください。

ロード テーブルおよびオペレータ ドアを清掃する

1. きれいな布を水で濡らします。
2. ロード テーブルとオペレータ ドアをきれいにそっと拭き、そのまま乾かします。



図 16: ロード テーブルおよびオペレータ ドア (安全パネルは示されていません)

出力デバイスの内部へのアクセス

定期的なメンテナンスとトラブルシューティングでは、出力デバイスの一部の内部領域へのアクセスを必要とします。以下の節では、これらの領域へのアクセスの方法を示します。

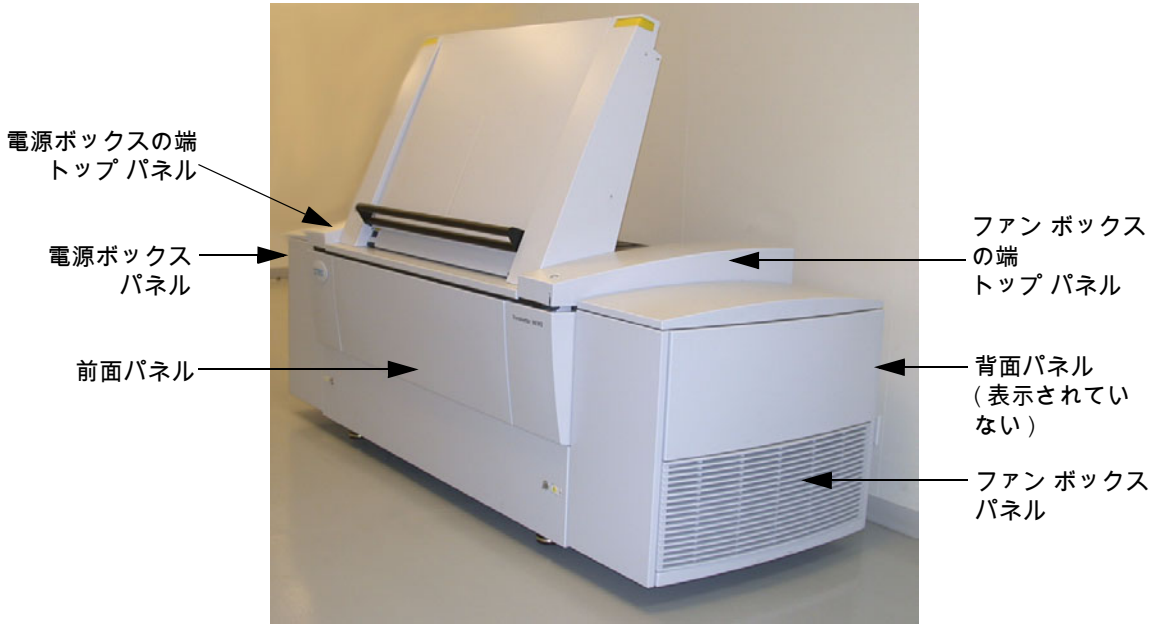


図 17: 内部へのアクセスのためのパネル (安全パネルは示されていません)

前面パネル、ファン ボックス パネル、および電源ボックス パネルは、出力デバイスの内部へのオペレータのアクセスは制限されています。ファン ボックス パネルでは、吸気フィルタにアクセスできます。電源ボックス パネルでは、出力デバイスのヒューズと回路ブレーカー スイッチにアクセスできます。電源ボックス パネルを取り外すと、認定されたサービス代理店によってのみ取り外すことができるサービス アクセス パネルが見えます。

アクセスできない出力デバイスのパネルは、背面パネル、電源ボックスの端のトップ パネル、ファン ボックスの端のトップ パネルです。認定されたサービス代理店のみが取り外すことができます。

備考 : パネルのオープンと取り外しにより、レーザーへの電源が切断されます。パネルが閉じたり、交換されてからレーザーが再びウォームアップするまで、最大 2 分間かかります。レーザーがウォームアップ中は、メディアをイメージングできません。



重要: アクセス パネルを開くことは避けられませんが、埃の蓄積を敏感なコンポーネントの中や周囲から減らすために、最小限にとどめてください。

前面パネルの開閉

次のような場合に、前面パネルを開く必要があります。

- ドラムからスタック プレートを取り外す - 79 ページの「出力デバイスから詰まったメディアのメディアの取り出し」を参照。
- プレート ローラーを清掃する – 44 ページの「プレート ローラーの清掃」を参照。
- エッジ検出ストリップを清掃するーを参照。



注意： ほとんどの時間、前面パネルはロックされています。これらの指示に従って、前面パネルを開いてください。過剰な物理的な力をかけると、パネルが損傷します。

前面パネルを開く

1. Print Console で、**[Device(デバイス)]** メニューから **[Unlock panel doors(パネル ドアのロック解除)]** を選択します。

   前面パネルのロックが解除されます。

2. 前面パネルの 2 個のラッチを 90½ 反時計回りに (垂直の位置まで) 回転させます。

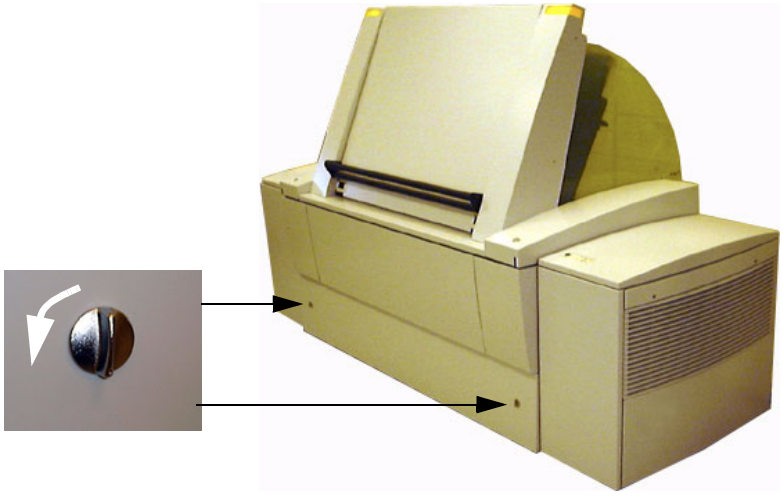


図 18: 前面パネルのラッチ

3. 前面パネルを上に持ち上げます。

   前面パネルはガス ストラットで制御されており、自動的に上に開きます。

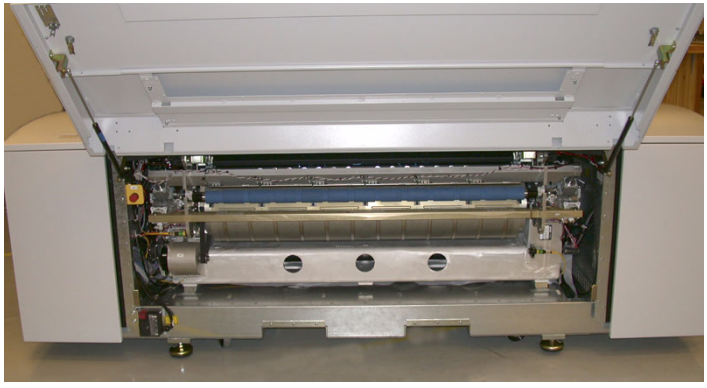


図 19: 前面パネルを持ち上げます。

注意：持ち上げたパネルに頭をぶつけないでください。

前面パネルを閉じる

➢ 前面パネルを閉じ、前面パネルの 2 個のラッチを 90½ 時計回りに回し、しっかりと締めます。

前面パネルがロックされます。

ファン ボックス パネルの取り外しと取り付け

エア プリフィルタを交換するためには、ファン ボックス パネルを取り外す必要があります。

警告： メンテナンス手順を実行する前に、出力デバイスがメディアをイメージングしていないことを確認してください。その後、出力デバイスをシャットダウンしてください。

ファン ボックス パネルを取り外す

1. 手のひらを使って、ファン ボックスの上端をカチッと音がするまで押します。

   パネルがポンと開きます。



図 20: ファン ボックス パネルを取り外す

2. パネルを上に出力デバイスから離すように持ち上げます。

   パネルを邪魔にならない場所に置きます。

ファン ボックス パネルを取り付ける

1. ファン ボックス パネルを持ち上げ、パネルの穴と出力デバイスの位置決めピンを整列させます。パネルの底をピンの上に乗せます。

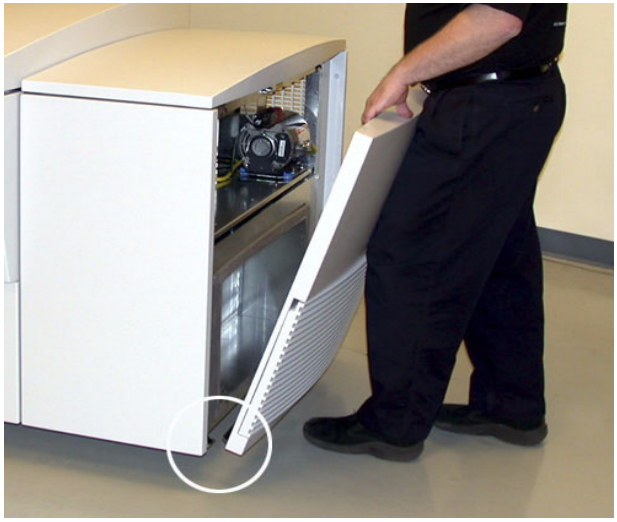


図 21: ファン ボックス パネルを取り付ける

2. パネルをデバイスの上に乗せ、カチッというまでパネルの上端を押します。

   ファン パネルのラッチがロックされます。

電源ボックス パネルの取り外しと取り付け

回路ブレーカーがトリップしたときにリセットするために、またはヒューズを交換するためには、電源ボックス パネルを取り外さなければなりません。



警告： メンテナンス手順を実行する前に、出力デバイスがメディアをイメージングしていないことを確認してください。その後、出力デバイスをシャットダウンしてください。

電源ボックス パネルを取り外す

1. 手のひらを使って、電源ボックスの上端を、カチッと音がするまで押します (方法については、40 ページの 図 20 を参照)。

   パネルがポンと開きます。

2. パネルを上に出力デバイスから離すように持ち上げます。

   パネルを邪魔にならない場所に置きます。

電源ボックス パネルを取り付ける

1. 電源ボックス パネルを持ち上げ、パネルの穴と出力デバイスの位置決めピンを整列させます。パネルの底をピンの上に乗せます (方法については、41 ページの 図 21 を参照してください。)
2. パネルをデバイスの上に乗せ、カチッというまでパネルの上端を押します。

   電源ボックス パネルのラッチがロックされます。

3. 出力デバイスの電源をオンにします。

出力デバイスの内部への清掃

33 ページのï 4に示されているように、出力デバイスの内部に定期的にルーチンのメンテナンスを実行する必要があります。



危険 ： 出力デバイスの内側には水が入り込まないようにしてください。水が入り込むと、怪我をしたり、感電し、機器に損傷を与えることがあります。

エッジ検出ストリップの清掃

メディアのエッジにイメージを登録するには、出力デバイスはエッジ-検出アルゴリズムを使用します。このアルゴリズムは、先頭の-エッジ クランプの脇、出力デバイスの内部のドラムの面にある 2 つの 741 mm (29.2") ストリップ セットに依存しています。これらのストリップは黒の艶消しです。

エッジ検出の誤作動を避けるためには、3 ヵ月後とにエッジ検出ストリップを清掃する必要があります。

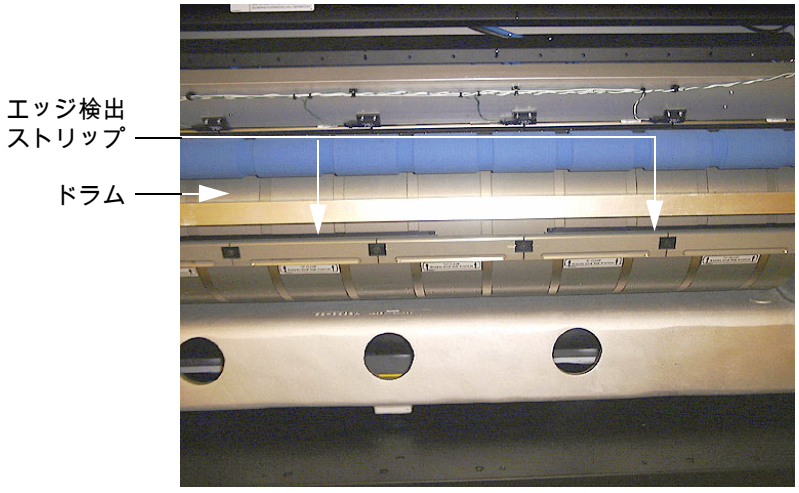


図 22: エッジ検出ストリップおよびドラム

エッジ検出ストリップを清掃する

1. 出力デバイスが現在、メディアのイメージングを行っていないことを確認します。
2. 出力デバイスをシャットダウンする。

   21 ページの「シャット ダウン Trendsetter NEWS」を参照してください。
3. 前面パネルを開きます。

   38 ページの「前面パネルの開閉」を参照してください。
4. エッジ検出ストリップが見えるまでドラムを手で回転させます。

   図 22は、ドラムとエッジ検出ストリップの位置を示します。

5. (細かい作業のために) 布を 90% のイソプロパノールと 10% の水を混ぜた溶液に浸し、各ストリップを 1 度ずつ 1 方向にのみ拭きます。

   ストリップに指紋や汚れを付着させないように注意してください。

   備考: エッジ検出ストリップの清掃用には、Kimberly Clark **の** Kimwipes® EX-L (Wipers) **をお勧めします。**

   注意 : イソプロパノールの製造業者からのすべての注意事項をよく読み、従ってください。そうしないと、怪我をしたり、出力デバイスに損傷を及ぼす可能性があります。

6. 前面パネルを閉じます。

   38 ページの「前面パネルの開閉」を参照してください。

プレート ローラーの清掃

プレート ローラーを毎月、清掃します。

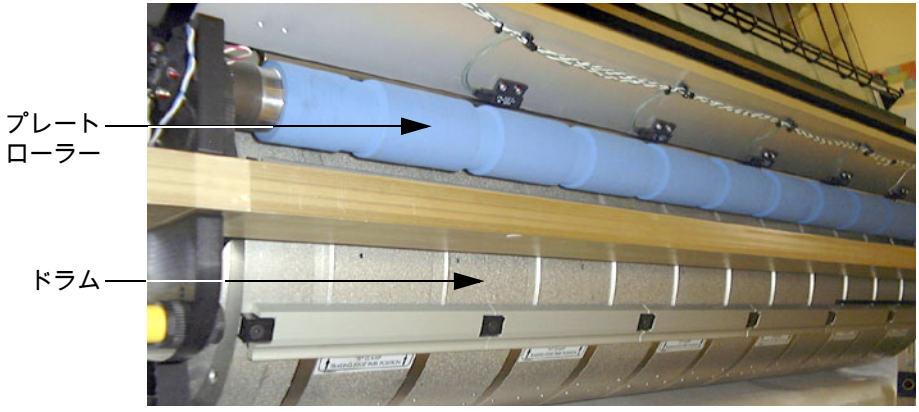


図 23: プレート ローラーおよびドラム

注意: プレート ローラーに損傷を与えたり、曲げないでください。また、圧力をかけないでください。

プレート ローラーを清掃する

1. 出力デバイスが現在、メディアのイメージングを行っていないことを確認します。
2. 出力デバイスをシャットダウンする。

   21 ページの「シャット ダウン Trendsetter NEWS」を参照してください。
3. 前面パネルを開きます。

   38 ページの「前面パネルの開閉」を参照してください。
4. プレート ローラー (明るい青) を (細かい作業のために用意した) 濡れた布 でそっと拭きます。
5. 前面パネルを閉じます。

   38 ページの「前面パネルの開閉」を参照してください。

エア フィルタの交換

出力デバイスには 2 つのエア フィルタ システムがあります。

- 圧縮エア サプライ フィルタ – 右下のバック パネルの 2 つのフィルタ
- 冷却エア フィルタ システム - ファン ボックス パネルを取り外すことにより、このフィルタにアクセスできます

これらのフィルタを定期的に検査し、交換してください。

フィルタ交換の頻度

フィルタの外観だけでフィルタがきれいであるか、交換が必要であるかを判断しないようにしてください。操作環境に粒子の粗い埃がある場合はまだ交換が必要なくても汚く見え、小さな粒子が空気中にある場合は交換が必要でもきれいに見える場合があります。

エア サプライ フィルタは 6 ヵ月ごとに交換してください。担当のサービス代理店をお持ちのお客様の場合、6 ヶ月のサービス点検の際に認定されたサービス代理店がこの作業を行います。しかし、操作状況がより頻繁なエア サプライ フィルタの交換を必要とする場合、サービス点検の前にメンテナンス手順を実行することを強くお勧めします。

圧縮エア サプライ フィルタ

2 つの圧縮エア サプライ フィルタがあります。

- 5 ミクロン

  このフィルタは白です。
- 0.01 ミクロン (micro-mist)

  このフィルタは黒です。

フィルタは出力デバイスの右下の背面パネルにあります。これらのフィルタは、出力デバイスの空気圧系統に供給されるクリーンでドライな圧縮空気をフィルタリングします。

注意: 圧縮空気をオフにしてから、エア サプライ フィルタを交換してください。

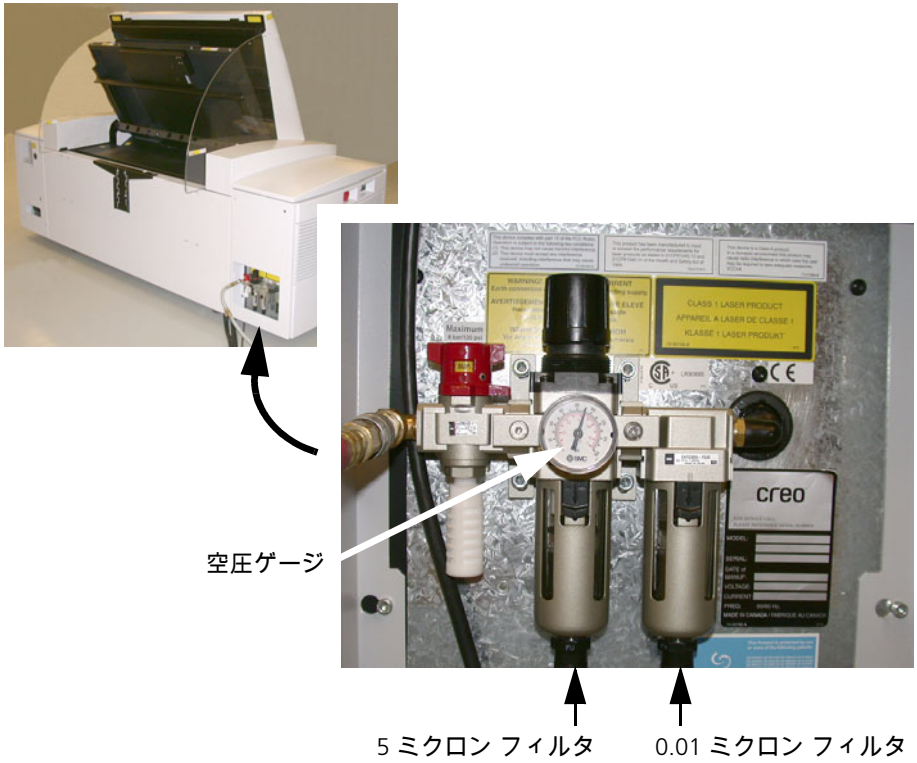


図 24: 圧縮エア サプライ フィルタ システム

圧縮エア サプライ フィルタは、6 ヶ月ごとに交換しないと詰まる可能性があります。詰まったフィルタは、出力デバイスに空圧の問題を生じさせます。フィルタを落としてしまうと、汚れが出力デバイスのエア システムに損傷を与えることがあります。

交換部品

Creo Inc. から圧縮エア サプライ フィルタ システムの交換部品を注文できます。付録 Aの 「部品番号」を参照してください。

注意: 圧縮エア サプライ システムで使用されるフィルタのメーカーからのすべての注意事項を読み、従ってください。そうしないと、怪我をしたり、出力デバイスに損傷を及ぼす可能性があります。

圧縮エア サプライ フィルタの検査

圧縮エア サプライ フィルタは毎週、検査してください。

水または油が付着していないか、フィルタ ボールを検査します。水または油が付着している場合は、認定されたサービス代理店に通知してください。

水または油は、外部の圧縮エア サプライ システムから入ったものです。外部のエア サプライ システムを検査し、修理しておくことが重要で、そうしないと、Trendsetter NEWSに致命的な損傷を与えてしまう可能性があります。

注意 : 出力デバイスから空気圧を抜いてから、エア フィルタを取り外さないと、フィルタリングされていない空気が出力デバイスの敏感な部分に入り込んでしまうことがあります。これは最終的に出力デバイスのパフォーマンスを劣化させ、損傷させてしまいます。また、人体の怪我を起こしたり、出力デバイスを損傷させてしまう可能性もあります。

圧縮エア サプライ フィルタを検査する

1. 出力デバイスがメディアのイメージングを行っていないことを確認します。
2. オレンジのエア遮断バルブを時計回りに回して、オフのポジションにし、圧縮空気の供給を遮断します。

   48 ページの 図 25 または51 ページの 図 29 を参照してください。
3. 出力デバイスをシャットダウンする。

   21 ページの「シャット ダウン Trendsetter NEWS」を参照してください。

4. フィルタ ボールに水または油が付着していないか、フィルタ ボールにヒビがはいっていないかをチェックします。

注意： フィルタ ボールに水や油を発見した場合は、直ちに認定されたサービス代理店に通知してください。

5 ミクロン フィルタの交換

5 ミクロン フィルタを 6 ヶ月ごとに交換します。

5 ミクロン フィルタを交換する

1. 出力デバイスがメディアのイメージングを行っていないことを確認します。
2. 出力デバイスをシャットダウンする。

   21 ページの「シャット ダウン Trendsetter NEWS」を参照してください。
3. オレンジのエア遮断バルブを時計回りに回して、オフのポジションにし、圧縮空気の供給を遮断します。

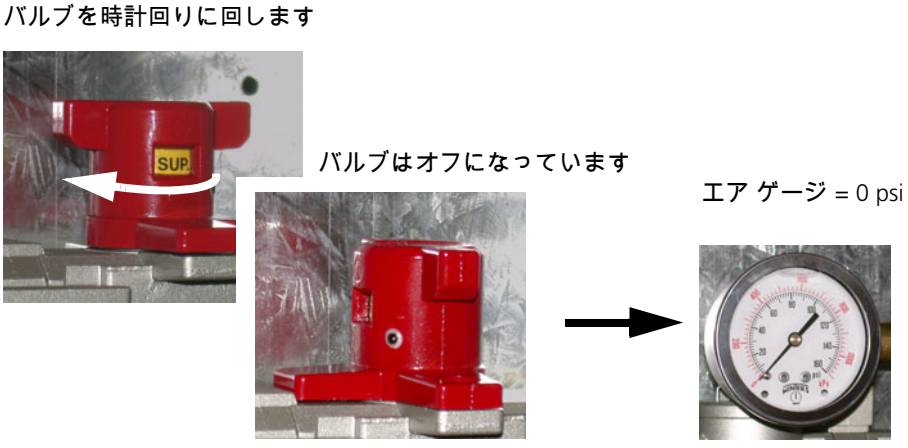


図 25: 圧縮空気の供給をオフにします

注意： 圧縮空気フィルタの交換前に圧縮空気システムをシャットオフしないと、人体に怪我を及ぼしたり、出力デバイスを損傷する可能性があります。

4. フィルタ ボールの前面の黒いタブを下に引いてください。これは、フィルタ ボールのロックを解除します。

   同時に、フィルタ ボールを 4 分の 1 回転 (いずれの方向でも可能) させ、フィルタ ボールを引き下げて取り外します。

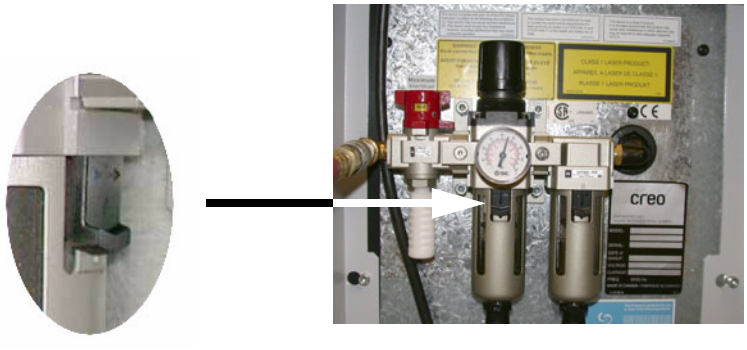


図 26: 黒のタブを引き下げる

5. 黒のプラスチック製のディスクを時計回りに回して、フィルタ アセンブリをゆるめます。
6. 使用済みの 5 ミクロン フィルタを取り外し、破棄します。



図 27: 5 ミクロン フィルタ

7. 黒のプラスチック製のプラスチック　ディスクをフィルタ　アセンブリにカチッとするまでねじ止めして、新しい 5 ミクロン フィルタを装着します。
8. フィルタ ボールの上部のゴム製の O リングを交換します。
9. フィルタ ボールに損傷や劣化がないかどうかチェックします。

   交換が必要な場合は認定されたサービス代理店に連絡します。

10. フィルタ ボールに水または油がないかどうかチェックします。

    フィルタ ボールに水または油がある場合は、認定されたサービス代理店にエア サプライを検査させてください。

11. フィルタ ボールをインストールし直します。

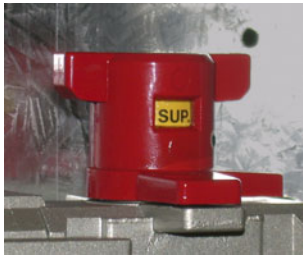
12. オレンジのエア遮断バルブを反時計回りに回してオンにし、圧縮空気の供給をオンに戻します。

    0.01 ミクロン フィルタを装着していない場合は、ステップ 12 をスキップして、0.01 ミクロン フィルタの交換に進んでください。

バルブを反時計回りに回します



バルブはオンになっています



エア ゲージ = 90 psi



図 28: 圧縮空気の供給をオンにします

空気圧ゲージは約 90 psi を示しているはずです。90 psi を示していない場合は、外部空気供給を調整してください。

0.01 ミクロン フィルタの交換

0.01 ミクロン フィルタを 6 ヶ月ごとに交換します。

0.01 ミクロン フィルタを交換する

1. 出力デバイスがメディアのイメージングを行っていないことを確認します。
2. 出力デバイスをシャットダウンする。

   21 ページの「シャット ダウン Trendsetter NEWS」を参照してください。
3. オレンジのエア遮断バルブを時計回りに回して、オフのポジションにし、圧縮空気の供給を遮断します。

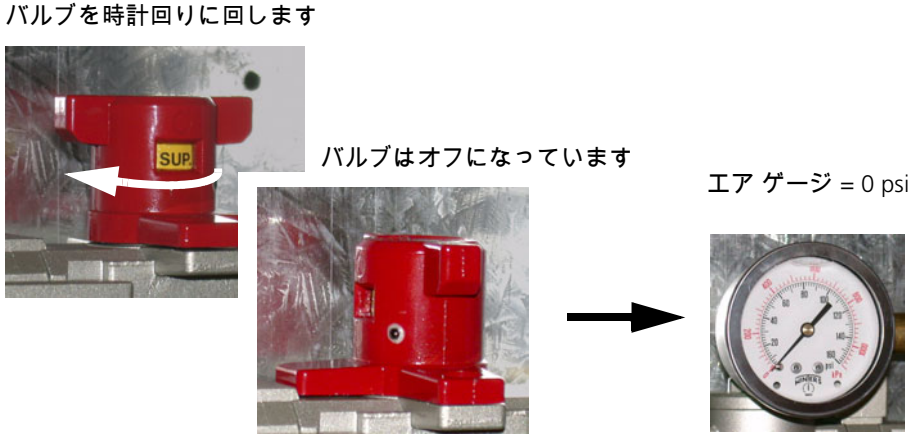


図 29: 圧縮空気の供給をオフにする

注意 : 圧縮空気フィルタの交換前に圧縮空気システムをシャットオフしないと、人体に怪我を及ぼしたり、出力デバイスを損傷する可能性があります。

4. フィルタ ボールの前面の黒いタブを下に引いてください。これは、フィルタ ボールのロックを解除します。

   同時に、フィルタ ボールを 4 分の 1 回転 (いずれの方向でも可能) させ、フィルタ ボールを引き下げて取り外します。

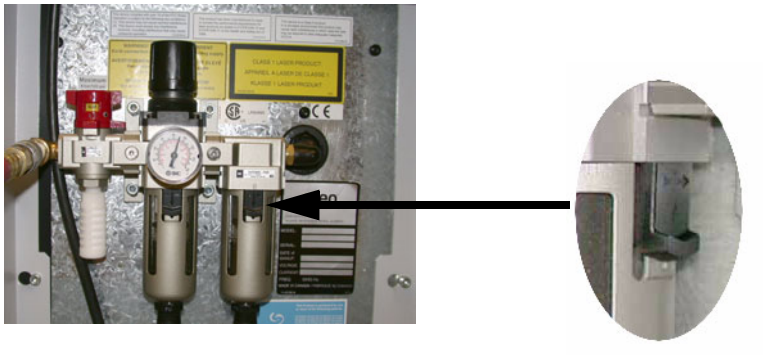


図 30: 黒のタブを引き下げる

5. 使用済みの 0.01 ミクロン フィルタを取り外し、破棄します。



図 31: 0.01 ミクロン フィルタ

6. きつく-締め付けられるまでフィルタをねじ留めして、新しい 0.01 ミクロン フィルタを装着します。
7. フィルタ ボールの上部のゴム製の O リングを交換します。
8. フィルタ ボールに損傷や劣化がないかどうかチェックします。

   交換が必要な場合は認定されたサービス代理店に連絡します。

9. フィルタ ボールに水または油がないかどうかチェックします。

   フィルタ ボールに水または油がある場合は、認定されたサービス代理店にエア サプライを検査させてください。

10. フィルタ ボールをインストールし直します。

11. オレンジのエア遮断バルブを反時計回りに回してオンにし、圧縮空気の供給をオンに戻します。

    5 ミクロン フィルタを装着していない場合は、ステップ 11 をスキップして、48 ページの「5 ミクロン フィルタの交換」に進んでください。

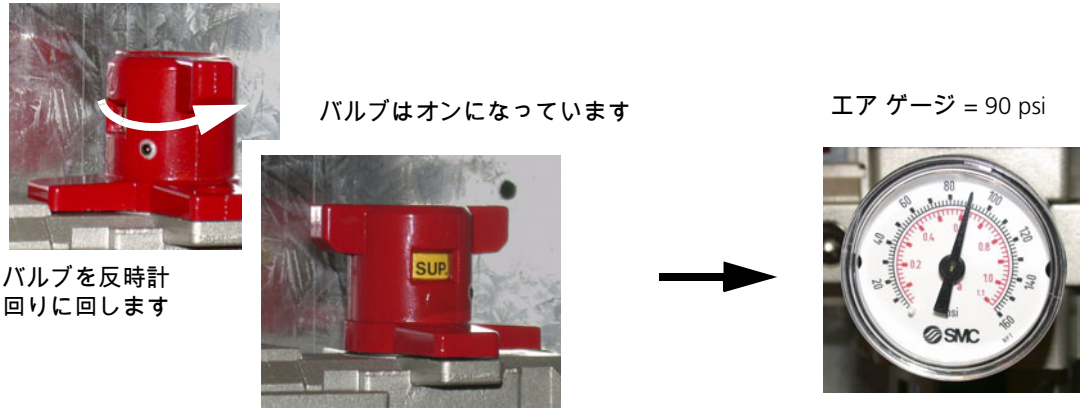


図 32: 圧縮空気の供給をオンにします

空気圧ゲージは約 90 psi を示しているはずです。90 psi を示していない場合は、外部空気供給を調整してください。

吸気フィルタ

吸気フィルタはファン ボックス パネル内にあります。フィルタは 6 ヵ月ごとに交換します。汚れた環境では、より頻繁に交換してください。

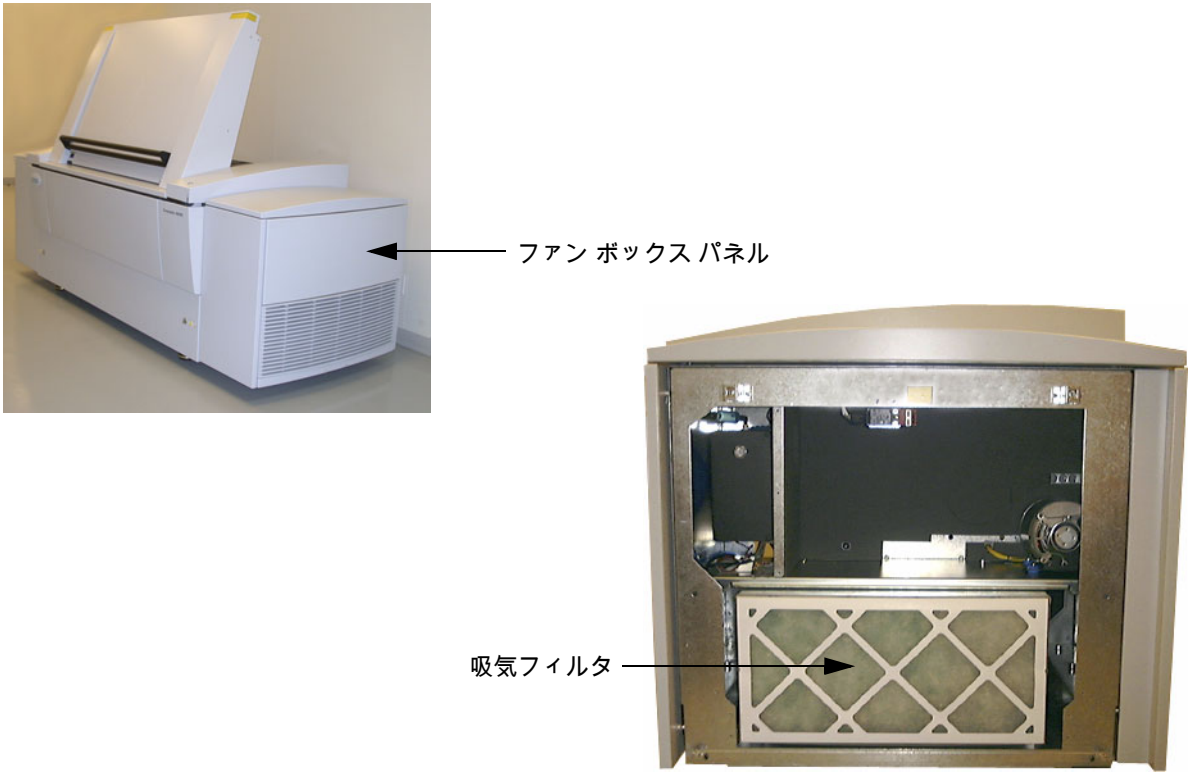


図 33: 吸気フィルタ

交換部品

推奨する吸気フィルタの交換品は Creo, Inc. から注文できます。付録 Aの 「部品番号」を参照してください。

吸気フィルタの交換

吸気フィルタは白で、50.8 mm (2") の厚さです。新しいフィルタを装着するときは、フィルタの端の空気流入の方向を示す矢印に注意してください。

吸気フィルタを交換する

1. 出力デバイスをシャットダウンする。

   21 ページの「シャット ダウン Trendsetter NEWS」を参照してください。

2. ファン ボックス パネルを取り外します。

   40 ページの「ファン ボックス パネルの取り外しと取り付け」を参照してください。

3. フレームから古いフィルタを取り出します。

4. フィルタ フレームを清掃します。

   フレームを掃除機で清掃するか、乾いた布で拭きます。

5. 新しい吸気フィルタをフィルタ フレームに差し込みます。

   新しいフィルタの端の空気流入の方向を示す矢印に従って、フレームにフィルタを配置します。

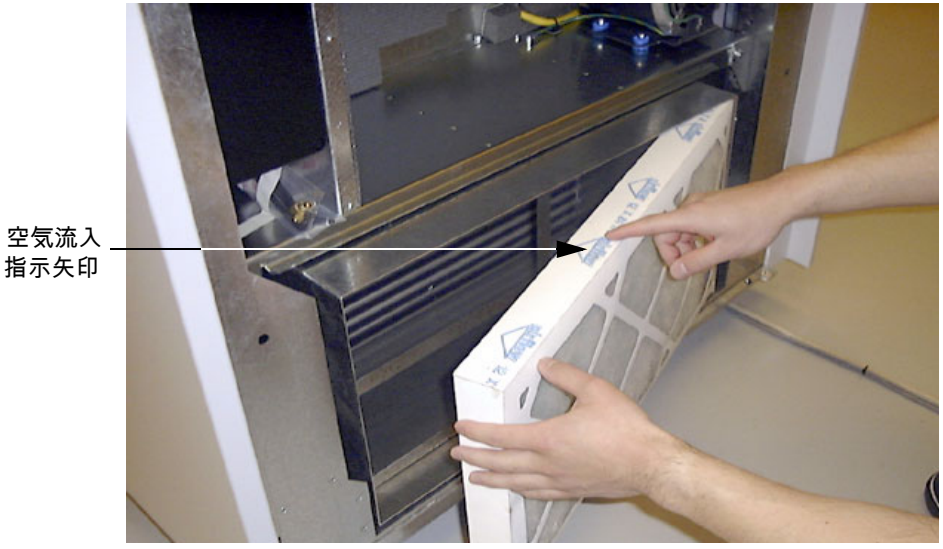


図 34: 吸気フィルタの装着

6. ファン ボックス パネルを取り付けます。

   40 ページの「ファン ボックス パネルの取り外しと取り付け」を参照してください。

5 トラブルシューティング

オペレータが回復可能なエラー 58
エラーメッセージと望ましい解決法 62
[Emergency Stop (緊急停止)] スイッチのリセット 78
出力デバイスのリセット 78
出力デバイスから詰まったメディアのメディアの取り出し 79
イメージ品質上の問題 84
電源の障害 84

オペレータが回復可能なエラー

この章では、Trendsetter NEWSで起こる可能性のある一般的なエラーや問題について取り上げ、その解決方法について説明します。共通のエラー メッセージおよび望ましい解決法のリストについては、62 ページの「エラーメッセージと望ましい解決法」を参照してください。

出力デバイスが問題を検出すると、次のいずれかを行います。

- 処理を続行する (58 ページの「警告メッセージ」を参照)

  出力デバイスが介入なしに処理を続行できる場合、問題はワークステーションのメッセージ ログに報告されます。
- 処理を中断する (58 ページの「エラー メッセージ」を参照)

  出力デバイスが停止し、問題は、Print Console の [Message(メッセージ)] ペインに報告されます。状況が直ちに介入を必要とする場合、オペレータ インターフェイスのエラー ライトとオペレータ ドアのステータスライトが点滅します。

  出力デバイスが回復し、イメージングを続行するには、操作を中断したエラーで介入が必要になります。

警告メッセージ

警告メッセージは潜在的に問題を生じさせる状況を警告するものですが、イメージ処理を停止することはありません。

一般的に、警告メッセージは Print Console に表示されません。代わりに、履歴レコードの一部として [History (履歴)] ペインに直接進みます。しかし、一部の警告メッセージは、[History (履歴)] ペインに進む前の短い時間、[Message(メッセージ)] ペインに表示されることがあります。

エラー メッセージ

システム操作のエラーが起きたとき、エラー メッセージが Print Console の [Message(メッセージ)] ペインに表示され、システムがシャットダウンします。出力デバイスがエラーが発見されたときにすでにプロってリングを開始している場合、部分的に露出されたメディアが排出されます。

エラー メッセージの例は、次のとおりです。

MPC: Media not on registration pin (メディアが見当ピン上にありません)

出力デバイスでイメージングを続行する前にエラーを修正しなければなりません。

エラー メッセージが修正された後で、[History (履歴)] ペインに進みます。

中断条件

中断条件は、出力デバイスの操作を妨げます。中断条件は、メディアが整列されていなかったり、ドラムで詰まっている場合など、エラーまたは問題がシステムにあるときに発生します。

中断条件の例

エラー メッセージ :	オペレータの考えられる措置
MDH: Media released, remove media and use RESUME to continue (メディアがリリースされ、メディアを取り外し、続行するために RESUME を使用してください) [Error #: 40229]	前に中断されたときに、**[Release (リリース)]** ボタンが選択されました。出力デバイスは、メディアを簡単に取り外せるように可能なことをしました。 エラーを修正する方法 : 1. メディアを出力デバイスから取り外します。 2. **[Resume (続行)]** ボタンをクリックして続行します。

中断条件が発生したとき、

- 出力デバイスが停止します。
- オペレータ インターフェイスのエラー ライトおよびオペレータ ドアの片側のステータス ライトが点滅します。
- Print Console に中断プロンプトが表示されます。

中断条件が発生したときに、Print Console で最大 6 個のオプションが選択可能です。ボタンがグレイ表示になっている場合は、選択できません。

表 5: 中断条件オプション

オプション	結果
Resume(続行)	このボタンをクリックして、操作を再び試みてください。
Release(リリース)	このボタンをクリックして、出力デバイスにメディアをリリースさせ、簡単に取り外せるようにすることができます。
Eject(排出)	このボタンをクリックして、ジョブをキャンセルし、メディアをアンロードします。
Media Removed (メディア取り外し完了)	メディアを取り外した後でこのボタンをクリックして、手動で介入して問題を修正することを示します。たとえば、手動で整列がうまくいっていないメディアを取り除いた場合などです。 **重要: [Media Removed(** メディア取り出し完了 **)]** ボタンをクリックする前に、メディアを取り外す必要があります。
Cancel(キャンセル)	このボタンをクリックして、ジョブをキャンセルします。出力デバイスがメディアをロードする場合、ロードが完了し、メディアがドラムに残されます。 このボタンはアンロード中に使用できず、一般的にアンロードを強制しません。
Leave On(オンのまま)	このオプションはプロッティング エラーを指します。メディアはドラムにロードされ、プロッティング エラーが発生します。このボタンをクリックしてエラーを修正し、続行します。通常は、ジョブを再送信する必要があります。

中断条件からの回復

ほとんどの場合、中断条件からの回復は、次の手順をお勧めします。

1. Print Console の中断プロンプトの **[Resume(続行)]** ボタンが選択可能な場合、それをクリックし、最後の手順をもう一度実行します。

   出力デバイスが通常の操作に戻らない場合は、ステップ 2 に進みます。

2. **[Leave On(オンのまま)]** ボタンが選択可能な場合、それをクリックしてジョブをキャンセルし、メディアをドラムに残します。

   出力デバイスが通常の操作に戻らない場合は、ステップ 3 に進みます。

3. **[Eject(排出)]** ボタンが選択可能な場合、それをクリックしてジョブをキャンセルし、メディアをドラムに残します。

   出力デバイスが通常の操作に戻らない場合は、ステップ 4 に進みます。

4. **[Cancel(キャンセル)]** ボタンが選択可能な場合、それをクリックしてジョブをキャンセルし、メディアをドラムに残します。

   出力デバイスが通常の操作に戻らない場合は、ステップ 5 に進みます。

5. **[Release(リリース)]** ボタンが選択可能な場合、

   a. それをクリックして、出力デバイスにメディアをリリースさせます。
   b. 手動でメディアを出力デバイスから取り外します。
   c. **[Resume(続行)]** ボタンまたは **[Media Removed(メディア取り出し完了)]** ボタンをクリックして続行します。

   出力デバイスが通常の操作に戻らない場合は、ステップ 6 に進みます。

6. **[Media Removed(メディア取り出し完了)]** ボタンが選択可能な場合、

   a. 手動でメディアを出力デバイスから取り外します。
   b. **[Resume(続行)]** ボタンまたは **[Media Removed(メディア取り出し完了)]** ボタンをクリックして続行します。

   出力デバイスが通常の操作に戻らない場合は、ステップ 7 に進みます。

7. Print Console の出力デバイスをリセットします。詳細な手順については、Print Console オンライン ヘルプを参照してください。

   出力デバイスが通常の操作に戻らない場合は、ステップ 8 に進みます。

8. Print Console の終了。

9. 出力デバイスをシャットダウンする。

10. 出力デバイスを始動します。



重要： 問題が引き続き存在する場合は、Creo Response Center にお問い合わせください。

エラーメッセージと望ましい解決法

このセクションは、Trendsetter NEWSでエラーまたは問題が起きたときに、Print Console に表示されるほとんどのエラー メッセージを取り上げます。



重要: 特定のエラー メッセージの説明の望ましい解決法が見つからない場合は、60 ページの中断条件の解決手順を試してください。それがうまくいかない場合は、認定されたサービス代理店にお問い合わせください。

問題を自分自身で解決する場合でも、認定されたサービス代理店に繰り返し起こるエラーについては報告してください。サービス代理店に連絡する際の望ましいオペレータの措置の一部として、エラー番号 (プロンプト番号とも呼ばれる) を報告していただけると、サービス代理店が問題を解決する上で役立ちます。



重要: アクセス パネルを開くことは避けられませんが、埃の蓄積を敏感なコンポーネントの中や周囲から減らすために、最小限にとどめてください。



備考： Trendsetter NEWS 出力デバイスは再始動にしてからウォームアップするのに最大 2 分間かかります。出力デバイスがウォームアップ中は、メディアをイメージングできません。イメージングのために提出されたファイルは、出力デバイスの準備が完了するまでワークステーションで待機します。

エラーの分類

すべてのエラーにはメッセージ番号 (プロンプト番号とも呼ばれる) があります。これは、昇順にリストされています。

メッセージは、Print Console に接頭辞、たとえば、MPC (Master Plot Console) 付きで表示されます。これらのメッセージを出力デバイスのほかの部品に関する情報をリレイするほかのメッセージと区別するためのものです。例 :

MPC: No valid edge found, check edge detect strip (有効な工ッジが見つかりません、エッジ検出ストリップをチェックしてください)

接頭辞は主に多くの種類のメッセージを整理するための内部ツールとして使用されます。種々のエラー カテゴリーを知っていても、必ずしもエラーを解決できません。

サービス代理店に連絡する際の望ましいオペレータの措置の一部として、エラー番号を報告していただけると、サービスマンが問題を解決する上で役立ちます。

表 6: エラーメッセージの番号順のリスト

番号順のリスト	
エラー メッセージ :	ソリューション
PRD: Emergency Stop switch is on ([Emergency Stop緊急停止)]スイッチがオンです) [Error #: 35724]	出力デバイスの [Emergency Stop(緊急停止)] スイッチが間違えて押されています。出力デバイスは [Emergency Stop(緊急停止)] スイッチがアクティブになっている間、メディアをイメージングできません。 エラーを修正する方法: ➢ [Emergency Stop(緊急停止)] スイッチをリセットします。 78 ページの「[Emergency Stop (緊急停止)] スイッチのリセット」を参照してください。
PRD: Front panel is open, check front panel (前面パネルが開いています。前面パネルを調べてください) [Error #: 35733]	前面パネルが開いています。出力デバイスは前面パネルが開いている間はメディアをイメージングできません。 エラーを修正する方法: 1. 前面パネルを閉じます。 2. [**Resume(続行)**] ボタンをクリックします。 重要: エラーが引き続き存在する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。
PRD: Back panel not detected, check back panel (背面パネルが見つかりません、背面パネルをチェックしてください) [Error #: 35735]	背面パネルが出力デバイスから取り外されています。出力デバイスは背面パネルが開いている間はメディアをイメージングできません。 エラーを修正する方法: 1. 背面パネルが所定の位置にあることを確認してください。 2. [**Resume(続行)**] ボタンをクリックします。 重要: エラーが引き続き存在する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。

番号順のリスト（続）	
PRD: System Pressure Out of Range: Reading=<Low range limit>, Low=<High range limit>, High=<Current value>（システム圧力が範囲外： 読み取り値 = 最小値範囲制限 >，低 = 最大値範囲制限)>，高 = 現在値 >） [Error #: 35771]	汚れが出力デバイスのエア サプライ システムに損傷を与えているか、空気の流れが制限されています。 エラーを修正する方法: 1. 出力デバイスのエア サプライ システムをチェックします。 • 出力デバイスに接続されたエア ホースに十分な空圧がかけられていることを確認します。 • 出力デバイスのシステムの空圧ゲージをチェックします。100 ~ 120 psi を示しているはずです。 • 必要に応じて、外部エア供給を調節します。 2. 認定されたサービス代理店に直ちにエラーの報告をしてください。
PRD: Top panels not detected, check top panels （トップ パネルが見つかりません。トップ パネルをチェックしてください） [Error #: 35773]	電源ボックスの端のトップ パネルまたはファン ボックスの端のトップ パネルが出力デバイスで開いているか、取り外されています。出力デバイスはトップ パネルが開いている間はメディアをイメージングできません。 エラーを修正する方法: 1. トップ パネルが所定の位置にあることを確認してください。 2. [**Resume (** 続行 **)**] ボタンをクリックします。 重要: エラーが引き続き存在する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。
PRD: Fanbox panel is not detected, check fanbox panel（ファンボックス パネルが見つかりません、ファンボックス パネルをチェックしてください） [Error #: 35775]	ファン ボックス パネルが出力デバイスから取り外されています。出力デバイスはファン ボックスパネルが開いている間はメディアをイメージングできません。 エラーを修正する方法: 1. ファン ボックス パネルを取り付けます。 2. [**Resume (** 続行 **)**] ボタンをクリックします。 重要: エラーが引き続き存在する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。

番号順のリスト（続）	
PRD: Front panel is unlocked（前面パネルのロックが解除されています） [Error #: 35786]	前面パネルが正しくロックされていません。出力デバイスは前面パネルがロックされていない間はメディアをイメージングできません。 エラーを修正する方法: 1. Print Console で、**[Device (デバイス)]** メニューから **[Unlock Front Panel (前面パネルのロック解除)]** を選択します。 2. 前面パネルを開き、それを閉じます。 3. [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。 **重要:** エラーが引き続き存在する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。
THERMAL: TH2 error 01307, Focus: Timeout waiting for focus OK（TH2 エラー 01307、フォーカス：フォーカス OK 待ちのタイムアウト） **または** THERMAL: TH2 error 03529, System: Failure of the focus learn（TH2 エラー 03529、システム：フォーカスの学習失敗） [Error #: 37240]	メディアに傷があるか、間違ってロードされているため、レーザーが正しくフォーカスできません。 エラーを修正する方法: 1. **[Eject (排出)]** ボタンをクリックして、ジョブをキャンセルし、メディアをアンロードします。 2. 新しいメディアをロードし、ジョブを再送信します。 3. エラーがもう一度起きた場合は、システムをシャットダウンし、再開します。 4. 出力デバイスがエラーから回復したら、認定されたサービス代理店に連絡してそれを報告してください。

番号順のリスト（続）	
THERMAL: Focus error detected at xx mm from HOME tab while imaging, check plate for artifacts（イメージング中に HOME タブから xx mm の場所でフォーカス エラーが検出されました、プレートに人工物がないかどうかチェックしてください） [Error #: 37464]	このエラーは、次のような原因で発生する可能性があります。 • メディアに傷がある • メディアが正しくロードされていない • メディアの端からイメージがはみ出している（イメージ幅がメディアよりも広い） エラーを修正する方法: 1. メディアにイメージの人工物がないかどうか検査します。 2. 正しいサイズの新しいメディアをロードし、ジョブを再送信します。 重要: エラーが引き続き存在する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。
MPC: Could not find edge of media after xx attempts（xx 回、試みた後でメディアのエッジを見つけることができませんでした） [Error #: 38108]	エラーを修正する方法: 1. メディアがイメージされる側（エマルジョン側）を上に向けてロードされていることを確認します。 2. メディア整列ラベルを使用して、メディアが正しく配置されていることを確認します。 3. ロードされているメディアが正しいサイズであることを確認します。 4. メディアが正しいサイズである場合、もう一度ロードしてみてください。 重要: エラーが引き続き存在する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。

番号順のリスト（続）	
MPC: No valid edge found, check edge detect strip（有効なエッジが見つかりません、エッジ検出ストリップをチェックしてください） [Error #: 38116]	出力デバイスは、ある程度の確からしさをもって、メディアのエッジを識別できません。エッジ検出ストリップが汚れているか、メディアの種類またはサイズのためです。 エラーを修正する方法: 1. **[Eject (** 排出 **)]** ボタンをクリックして、ジョブをキャンセルし、メディアをアンロードします。 2. エッジの損傷がないか、メディアをチェックします。 3. 損傷がある場合は、別のメディアをロードします。 エラーが再び起きた場合、次のことを行います。 1. 背面パネルを開きます。 2. エッジ検出ストリップを清掃します。 43 ページの「エッジ検出ストリップの清掃」を参照してください。 3. 背面パネルを閉じます。 **重要:** エッジ検出ストリップを清掃しても有効なエッジが見つからない場合、認定されたサービス代理店にエラーを報告してください。
MPC: Media not on <home/away> registration pin （メディアが home/away 見当ピン上にありません） [Error #: 38132]	メディアが正しい 2 個の見当ピンの上にありません。 1. **[Eject (** 排出 **)]** ボタンをクリックして、ジョブをキャンセルし、メディアをアンロードします。 2. ロードされているメディアが正しい位置にあることを確認します。 3. ロードされているメディアが正しいサイズであることを確認します。 4. メディアが正しいサイズである場合、もう一度ロードしてみてください。 **重要:** エラーが引き続き存在する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。

番号順のリスト（続）	
MPC: An error occurred during plotting on the slave（スレーブでプロット中にエラーが発生しました） [Error #: 38133]	備考：このメッセージは、Trendsetter NEWS 200 にのみ適用されます。 エラーは 2 番目のサーマル ヘッドで起こります。 エラーを修正する方法: 1. **[Eject（排出）]** ボタンをクリックして、ジョブをキャンセルし、メディアをアンロードします。 2. メディアに損傷がないかどうかチェックします。 3. 損傷がある場合は、新しいメディアをロードし、ジョブを再送信します。 重要: エラーが引き続き存在する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。
MPC: Multiple plates detected on drum（ドラムで複数のプレートが発見されました） [Error #: 38134]	出力デバイスにより測定されるメディアの厚みが、Print Console で指定されたものよりも厚く設定されています。恐らく、2 枚以上のメディアが互いに重なっていることが原因です。 エラーを修正する方法: 1. **[Eject（排出）]** ボタンをクリックして、ジョブをキャンセルし、メディアをアンロードします。 2. オペレータ ドアを開きます。 3. メディアを分割し、ロード テーブルで積み重ねてください。 4. オペレータ ドアを閉じます。 5. ジョブを再送信します。
MDH: Media released, remove media and use RESUME to continue（メディアがリリースされ、メディアを取り外し、続行するために RESUME を使用してください） [Error #: 40229]	出力デバイスは、[**Release（リリース）**] ボタンをクリックした後でリリースされました。 エラーを修正する方法: 1. メディアを出力デバイスから取り外します。 2. [**Resume（続行）**] ボタンをクリックします。

番号順のリスト (続)	
MDH: Picker up/down timeout: Failed to <Action> sensor. [<I/O name>] (ピッカーの上 / 下のタイムアウト : アクション センサーの失敗。) [Error #: 40401]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスはピッカーを上下に移動できません。 エラーを修正する方法: ➢ [**Resume (** 続行 **)**] ボタンをクリックします。 または ➢ 出力デバイスをリセットします。 78 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。
MDH: Picker in/out timeout: Failed to <Action> sensor. [<I/O name>] (ピッカー イン / アウト タイムアウト : アクション センサーの失敗。) [Error #: 40402]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスはピッカー ヘッドを内外に移動できません。 エラーを修正する方法: ➢ [**Resume (** 続行 **)**] ボタンをクリックします。 または ➢ 出力デバイスをリセットします。 78 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。
MDH: Picker wrist timeout: Failed to <Action> sensor. [<I/O name>] (ピッカー リスト タイムアウト : アクション センサーの失敗。) [Error #: 40403]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスはピッカー リストを内外に移動できません。 エラーを修正する方法: ➢ [**Resume (** 続行 **)**] ボタンをクリックします。 または ➢ 出力デバイスをリセットします。 78 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。

番号順のリスト（続）	
MDH: Picker vacuum timeout: Failed to achieve vacuum threshold (<Threshold>) within <Timeout> ms (only reached <Actual value>). [<I/O name>] （ピッカー バキューム タイムアウト：タイムアウト ms（実際の達成した値のみ）内にバキュームしきい値に達成できませんでした。） [Error #: 40404]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスはしきい値全体でピッカー バキューム待ちをしています。 エラーを修正する方法: ➢ [**Resume (** 続行 **)**] ボタンをクリックします。 または ➢ 出力デバイスをリセットします。 78 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。
MDH: Please remove plate detected on picker（ピッカーで検出されたプレートを取り外してください） [Error #: 40407]	初期化中にメディアはピッカーにありました。 エラーを修正する方法: 1. オペレータ ドアを開き、メディアを取り外します。 2. オペレータ ドアを閉じます。 3. [**Media Removed(** メディア取り外し完了 **)**] ボタンをクリックします。
MDH: Please close cover plate（カバー プレートを閉じてください） [Error #: 40408]	出力デバイスは、オペレータ ドアまたは手動バイパス ドアが開いているため、メディアをロードまたはイメージングできません。 エラーを修正する方法: 1. オペレータ ドアまたは手動バイパス ドアを閉じます。 2. [**Resume (** 続行 **)**] ボタンをクリックします。 **重要:** エラーが引き続き存在する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。
MDH: Can't move picker in because separators are in（セパレータが中にあるため、ピッカーを移動できません） [Error #: 40409]	セパレータのアームが外に移動できません。 エラーを修正する方法: ➢ 数秒間待ち、[**Resume (** 続行 **)**] ボタンをクリックします。 **重要:** エラーが引き続き存在する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。

番号順のリスト (続)	
MDH: Plates are sticking together. Please open the plate cover and separate plates. Press Resume to continue (ピッカーが互いにくっついています。プレート カバーを開き、プレートを分割してください。続行する場合は、[Resume (続行)] ボタンを押してください) [Error #: 40410]	出力デバイスはメディアをピックできません。2 つまたはそれ以上のメディアが互いにくっついているためです。 エラーを修正する方法: 1. オペレータ ドアを開きます。 2. メディアを分割し、ロード テーブルで積み重ねてください。 3. オペレータ ドアを閉じます。 4. [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。
MDH: Separator arm timeout: Failed to <Action> sensor. [<I/O name>] (セパレータ アーム タイムアウト : アクション センサーの失敗。) [Error #: 40415]	備考 : このメッセージは、フル オプション モデルにのみ適用されます。 タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスはセパレータ アームを内外に移動できません。 エラーを修正する方法: ➢ [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。 または ➢ 出力デバイスをリセットします。 78 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。
MDH: Roller timeout: Failed to <Action> sensor. [<I/O name>] (ローラー タイムアウト : アクション センサーの失敗。) [Error #: 40616]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスは、ローラーのコンポーネントの 1 つを移動できません。 エラーを修正する方法: ➢ [**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。 または ➢ 出力デバイスをリセットします。 78 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。

番号順のリスト（続）	
MDH: Media flyoff detected, please open panel and remove media（メディア フライ オフが検出された場合、パネルを開き、メディアを取り外してください） [Error #: 40631]	エラーを修正する方法: 1. 前面パネルを開きます。 2. メディアをドラムから取り外します。 3. 前面パネルを閉じます。 4. [**Resume (** 続行 **)**] ボタンをクリックします。 5. Print Console で選択されたメディア サイズがロード中のメディア サイズと一致することを確認してください。 6. ジョブを再送信します。
MDH: Media has invalid main scan length, it is smaller than expected（メディアのメイン スキャン長が無効で、予想よりも小さくなっています） [Error #: 40658]	出力デバイスは、間違ったサイズのメディアをロードしようとし、その後メディアを排出しました。 エラーを修正する方法: 1. 排出されたメディアを出力デバイスから取り除きます。 2. [**Media Removed(** メディア取り外し完了 **)**] ボタンをクリックします。メディアが排出されていない場合は、[**Release (** リリース **)**] ボタンをクリックします。 3. ロード テーブルに正しいサイズのメディアをスタックします。 4. Print Console で選択されたメディア サイズがロード中のメディア サイズと一致することを確認してください。 5. ジョブを再送信します。

番号順のリスト (続)	
MDH: Media has invalid main scan length, it is smaller than expected (メディアのメイン スキャン長が無効で、予想よりも小さくなっています) [Error #: 40659]	出力デバイスは、間違ったサイズのメディアをロードしようとし、その後メディアを排出しました。 エラーを修正する方法: 1. 排出されたメディアを出力デバイスから取り除きます。 2. [**Media Removed(** メディア取り外し完了 **)**] ボタンをクリックします。メディアが排出されていない場合は、[**Release (** リリース **)**] ボタンをクリックします。 3. ロード テーブルに正しいサイズのメディアをスタックします。 4. Print Console で選択されたメディア サイズがロード中のメディア サイズと一致することを確認してください。 5. ジョブを再送信します。
MDH: Leading edge clamp timeout: Failed to <Action> sensor. [<I/O name>] (先端エッジ クランプのタイムアウト : アクション センサーの失敗。) [Error #: 40663]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスは、先端エッジ クランプのコンポーネントの 1 つを移動できません。 エラーを修正する方法: ➢ [**Resume (** 続行 **)**] ボタンをクリックします。 または ➢ 出力デバイスをリセットします。 78 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。
MDH: Trailing edge backbone timeout: Failed to <Action> sensor. [I/O name>] (後続エッジ バックボーンのタイムアウト : アクション センサーの失敗。) [Error #: 40664]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスは後続エッジ バックボーンを上下に移動できません。 エラーを修正する方法: ➢ [**Resume (** 続行 **)**] ボタンをクリックします。 または ➢ 出力デバイスをリセットします。 78 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。

番号順のリスト（続）	
MDH: Trailing edge clamp lock/unlock timeout: Failed to <Action> sensor. [I/O name>]（後続エッジ クランプ ロック / アンロック タイムアウト： アクション センサーの失敗。） [Error #: 40665]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスは、後続エッジ クランプをロックまたはアンロックできません。 エラーを修正する方法: ➢ [**Resume (** 続行 **)**] ボタンをクリックします。 または ➢ 出力デバイスをリセットします。 78 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。
MDH: Load ramp timeout: Failed to <Action> sensor. [<I/O name>]（ロード ランプ タイムアウト：アクション センサーの失敗。） [Error #: 40667]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスは、ロード ランプを移動できません。 エラーを修正する方法: ➢ [**Resume (** 続行 **)**] ボタンをクリックします。 または ➢ 出力デバイスをリセットします。 78 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。
MDH: Please remove media detected on load ramp（ロード ランプで検出されたメディアを取り外してください。） [Error #: 40668]	メディアはロード ランプ上にあります。 エラーを修正する方法: 1. オペレータ ドアを開き、メディアを取り外します。 2. オペレータ ドアを閉じます。 3. [**Media Removed(** メディア取り外し完了 **)**] ボタンをクリックします。
MDH: Media not detected on load ramp（メディアはロード ランプ上で検出されません） [Error #: 40669]	出力デバイスはロード中にメディアを検出できませんでした。 エラーを修正する方法: 1. メディアが正しくロードされていることを確認してください。 2. [**Resume (**続行**)**] ボタンをクリックします。

番号順のリスト (続)	
MDH: Unload table up/down timeout: Failed to <Action> sensor. [<I/O name>] (アンロード テーブル上 / 下のタイムアウト : アクション センサーの失敗。) [Error #: 40801]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスはアンロード テーブルを上下に移動できません。 エラーを修正する方法: ➢ [**Resume (** 続行 **)**] ボタンをクリックします。 または ➢ 出力デバイスをリセットします。 78 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。
MDH: Unload table up/down timeout: Failed to <Action> sensor. [<I/O name>] (テーブル カップ上 / 下のタイムアウト : アクション センサーの失敗。) [Error #: 40802]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスはアンロード テーブル カップを上下に移動できません。 エラーを修正する方法: ➢ [**Resume (** 続行 **)**] ボタンをクリックします。 または ➢ 出力デバイスをリセットします。 78 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。
MDH: Unload table vacuum timeout: Failed to achieve vacuum threshold (<Threshold>) within <Timeout> ms (only reached <Actual value>). [<I/O name>] (アンロード テーブル バキューム タイムアウト : タイムアウト ms (実際の達成した値のみ) 内にバキュームしきい値に達成できませんでした。) [Error #: 40803]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスはしきい値全体でテーブル バキューム待ちをしています。 エラーを修正する方法: ➢ [**Resume (** 続行 **)**] ボタンをクリックします。 または ➢ 出力デバイスをリセットします。 78 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。

番号順のリスト（続）	
MDH: Timeout waiting for plate to leave unload table（プレートがアンロード テーブルを離れるまでの待ち時間のタイムアウト） [Error #: 40805]	出力デバイスは、アンロード テーブルからプレート スタッカーまたはプロセッサーにメディアを移動できません。 エラーを修正する方法: 1. プレート スタッカーまたはプロセッサーがオンになっていて、正しく作動していることを確認してください。 2. メディアがアンロード テーブルとプレート スタッカーまたはプロセッサの間で止まっていないことを確認してください。 3. スタック メディアを取り外し、プレート スタッカーまたはプロセッサーに手動でフィードしてください。 4. [**Resume (** 続行 **)**] ボタンをクリックします。
MDH: Please remove plate detected on unload table（アンロード テーブルで検出されたプレートを取り外してください） [Error #: 40809]	初期化中にメディアはアンロード テーブルにありました。 エラーを修正する方法: 1. [**Release (** リリース **)**] ボタンをクリックします。 2. 出力デバイスがアンロード テーブルを下げるのを待ちます。 3. メディアを取り外します。 4. [**Resume (** 続行 **)**] ボタンをクリックします。
MDH: Rotator timeout: Failed to <Action> sensor. [<I/O name>]（ロテーターのタイムアウト： アクション センサーの失敗。） [Error #: 40810]	備考：このメッセージは、炉テーターを備えた Trendsetter NEWS モデルにのみ適用されます。 タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスは、ロテーターを移動できません。 エラーを修正する方法: ➢ [**Resume (** 続行 **)**] ボタンをクリックします。 または ➢ 出力デバイスをリセットします。 78 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。

[Emergency Stop (緊急停止)] スイッチのリセット

この [Emergency Stop (緊急停止)] スイッチを間違って押してしまった場合は、出力デバイスを通常の操作に戻す前にそれをリセットしてください。

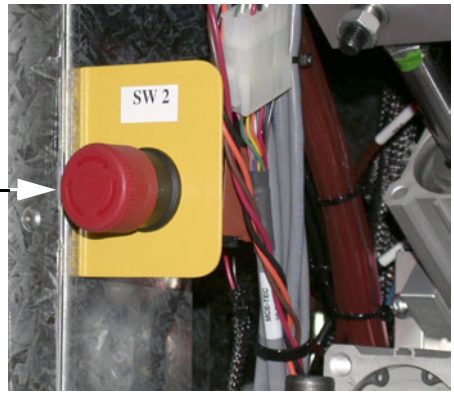


図 35: [Emergency Stop (緊急停止)] スイッチ

[Emergency Stop (緊急停止)] スイッチをリセットする

➢ [Emergency Stop (緊急停止)] スイッチを 90 ½ 時計回りに回転します。

出力デバイスのリセット

Print Console の [**Device (デバイス)**] メニューの [**Reset (リセット)**] コマンドを使用して、出力デバイスをアイドル状態または準備完了状態にします。

重要: 出力デバイスは再始動またはリセットにしてからウォームアップするのに最大 2 分間かかります。

備考 : [**Reset (リセット)**] コマンドが Print Console で選択できない場合、出力デバイスを約 5 秒間オフにして、またオンに戻します。

出力デバイスをリセットする

➢ Print Console で、**[Device (デバイス)]** メニューから **[Reset (リセット)]** を選択します。

出力デバイスは自動的にリセットされます。リセットされない場合は、シャットダウンして、システム全体を再起動します。

出力デバイスから詰まったメディアのメディアの取り出し

時々、出力デバイスのエラーでメディアがドラムに詰まることがあります。出力デバイスを通常の操作に戻すには、詰まったメディアを取り除く必要があります。

メディアがドラムにロードされたり、アンロードされるときにエラーが起こると、部分的にロードされたメディアをまず取り除き、後続エッジ クランプをドラムのパーク ポジションに手動で配置することが必要になります。81 ページの「後続エッジ クランプの移動」を参照してください。



注意： ドラムの後続エッジ クランプの間に指を挟まないようにしてください。

次の注意事項に従ってください。

- ペースメーカーを着用しているオペレータは、磁気クランプをペースメーカーから 7 センチ (2.75i) 以上離すようにしてください。

  他の心配事がある場合は、医者またはインプラントのメーカーに問い合わせてください。
- 磁気クランプを取り扱うとき、互いに異なる極性を近づけないでください。反対の極性の間に手や指を入れないようにしてください。
- 磁気クランプを取り扱う場合は保護グローブを着用してください。



重要： フロッピー ディスク、磁気ストライプ カード、時計などの磁気データは、磁気後続エッジクランプから遠ざけておいてください。

ドラムからスタック メディアを取り外す

1. 前面パネルを開きます。

   38 ページの「前面パネルの開閉」を参照してください。



注意： ほとんどの時間、前面パネルはロックされています。前面パネルを開くときは、このマニュアルの指示に従ってください。過剰な物理的な力をかけると、パネルが損傷します。

2. 保護グローブを着用してください。

   保護グローブは出力デバイスの中をきれいにたもつために、きれいで、糸くずが付いていないものを使用してください。

   注意： プレートの端は鋭くなっています。保護グローブを着用しないと、怪我をする可能性があります。

3. メディアが後続エッジ クランプによって保持されている場合、メディアからクランプをスライドさせてはずしてください。そうでない場合は、この手順をスキップします。

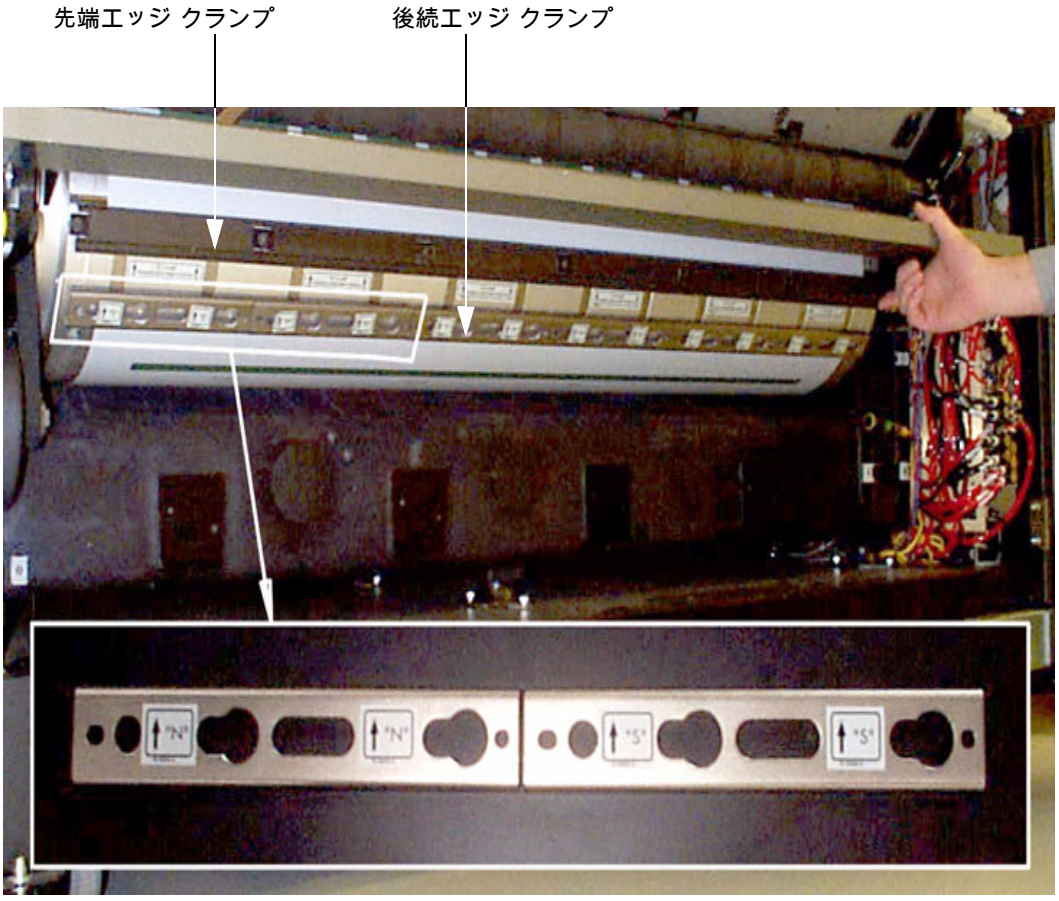


図 36: 後続エッジと先端エッジクランプ

4. ドラムは手で回す一方、先端エッジ クランプに手が届くまで、メディアの後続エッジを出力デバイスの前面にまっすぐと伸ばしてください。
5. メディアの開いている方のコーナーを折りたたみます。
6. メディアのコーナーをつかみ、メディアが先端エッジ クランプからはずれるまでしっかりと手前に引きます。



図 37: スタック メディアをはずします。

7. 塵が残されていないかどうかを検査するには、クランプのエッジを下に押してエッジ クランプを開きます。
8. Print Console で、[**Resume (続行)**] ボタンをクリックします。

   別のメッセージが表示され、後続-エッジ クランプをパーク ポジションにするように指示されます。
9. 後続エッジ クランプを移動します。

   81 ページの「後続エッジ クランプの移動」を参照してください。
10. 前面パネルを閉じます。

    38 ページの「前面パネルの開閉」を参照してください。

後続エッジ クランプの移動

次の場合に、出力デバイスの後続エッジ クランプを移動する必要があります。

- ドラムからスタック メディアを取り除くするために、クランプを移動します。
- クランプは出力 デバイスにより落とされます。
- Print Console に次のエラー メッセージが表示されます。

  `move clamps to park position, then select RESUME`（クランプをパーク ポジションに移動し、`RESUME` を選択してください）

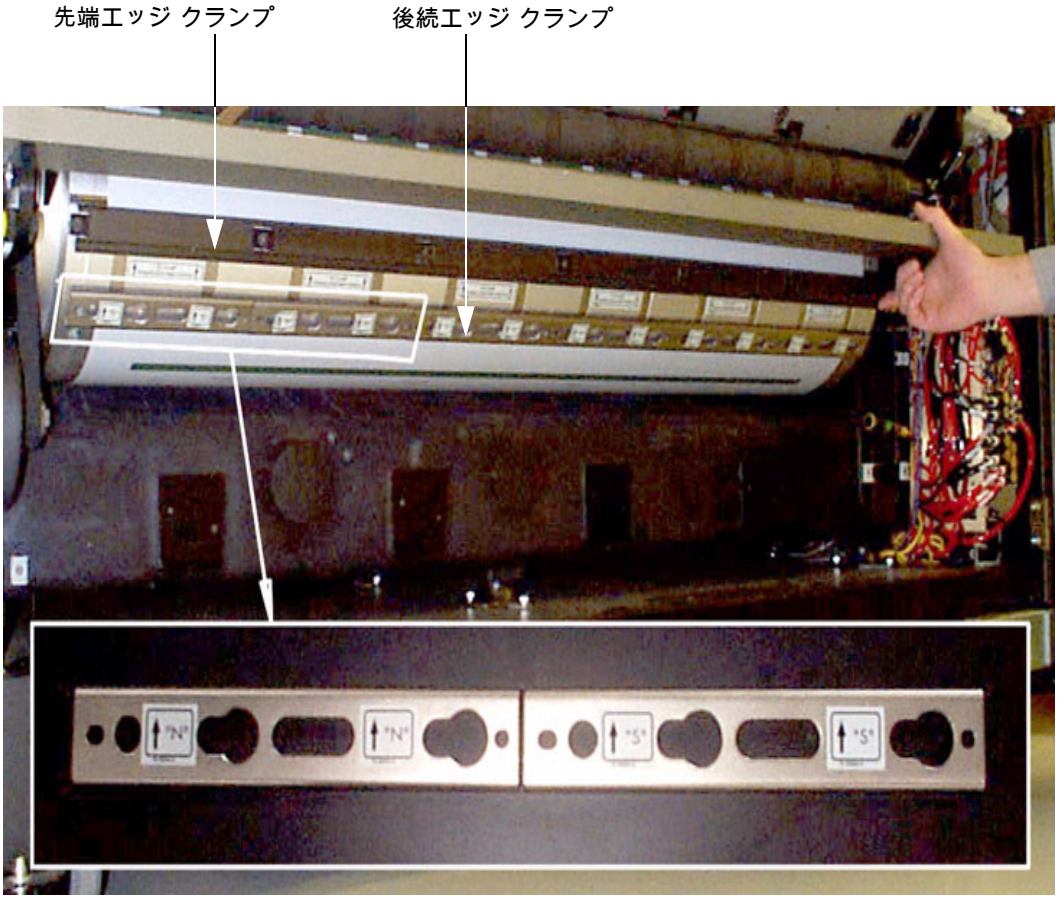


図 38: 後続エッジと先端エッジクランプ

注意： ドラムの後続エッジ クランプの間に指を挟まないようにしてください。

後続エッジ クランプを移動する

1. 前面パネルを開きます。

   38 ページの「前面パネルの開閉」を参照してください。

2. ドラムにメディアがある場合は、取り除いてください。

   79 ページの「出力デバイスから詰まったメディアのメディアの取り出し」を参照してください。

3. ドラムは手で後続エッジ　クランプが出力デバイスの前面で見えるようになるまで回転させてください。



注意： ドラムにトレーリング エッジ クランプを配置したり、スライドさせるとき、常にクランプのスチール タブがドラムのスチール ストラップ上で中央揃えされていることを確認してください。クランプ タブは、タブが正しく整列されていない場合に、ドラムの表面を損傷させる場合があります。

4. 先端エッジ クランプに触れるまで、後続エッジ クランプをドラムに沿ってスライドさせてください。

   クランプがドラムから外れた場合、先端-エッジ クランプに向かって配置します。

   a. ドラムの **S** または **N** というラベルがついた各クランプに **S** または **N** (磁石の極性) を整列させます。
   b. ドラムの矢印のラベルの方向にクランプの矢印の方向を合わせます。

5. 後続エッジ クランプが均等間隔に並べられていることを確認します。

   後続エッジ クランプの間の隙間と先端エッジ クランプの間の隙間を整列させます。

6. 後続エッジ クランプが直線で、接触する先端エッジ クランプと平行に並べられていることを確認してください。

7. **S** と **N** の間の後続エッジ クランプ ラベルを確認します。

8. 前面パネルを閉じます。

   38 ページの「前面パネルの開閉」を参照してください。

9. Print Console で、[**Resume (**続行**)**] ボタンをクリックします。

10. 出力デバイスが以下のいずれかのメッセージで再び中断された場合、クランプの整列をチェックし、必要に応じて調節してください。

    `Timeout moving TE cylinder (TE` シリンダの移動タイムアウト）

    `TE failed to lock (TE` がロックされていません）

    `TE clamps not on actuator/drum (TE` クランプがアクチュエータ/ドラム上にありません）

イメージ品質上の問題

イメージ品質上の問題を経験している場合、認定されたサービス代理店に直ちにお問い合わせください。

電源の障害

電源の障害がある場合は、直ちにTrendsetter NEWSをシャットダウンしてください。最後の状態を保留し、オフになっている間、何も変わっていない場合、電源を再投入した後にもう一度回復を試みてください。

自動的な回復が可能でない場合もあります。たとえば、メディアがドラム上に部分的に存在するときに電源が落ちた場合などです。この場合、Print Console にメッセージが表示されるので、メディアを取り出してください。79 ページの「出力デバイスから詰まったメディアのメディアの取り出し」を参照してください。

電源障害が起きた場合、20 ページの 図 7 に示されているように、電源スイッチを使用して出力デバイスをオフにすることをお勧めします。電源が回復されると、出力デバイスを再びオンにできます。

同様に、電源障害が起こると、ワークステーションは通常のシャットダウンを行いません。直ちにシャットダウンします。ワークステーションを再起動するための詳細については、ワークステーションと共に受け取った資料を参照してください。

トリップされた回路ブレーカー

電源障害が起こると、電源がオンに戻らない場合、出力デバイスが回路ブレーカーをトリップしている可能性があります。回路ブレーカー スイッチを押して、手動でリセットできます。

回路ブレーカー スイッチは、電源ボックス パネルの後ろにあります。パネルを取り外すとき、ブレーカーは電源スイッチの上にあります。

トリップされた回路をリセットする

1. 出力デバイスをシャットダウンする。
2. 電源ボックス パネルを取り外します。

   42 ページの「電源ボックス パネルの取り外しと取り付け」を参照してください。
3. 回路ブレーカー スイッチをリセットします。



図 39: 回路ブレーカー スイッチ

4. 電源ボックス パネルを取り付けます。

   42 ページの「電源ボックス パネルの取り外しと取り付け」を参照してください。

5. 出力デバイスを再始動します。

   20 ページの「Trendsetter NEWS の始動」を参照してください。出力デバイスが正しく始動しない場合、認定されたサービス代理店にお問い合わせください。

出力デバイスの空圧の損失

圧縮空気は外部圧縮コンプレッサから出力デバイスに供給されます。電源の損失がまたエア コンプレッサーに影響を与える場合、出力デバイス内の空圧ゆっくりと失われます。空圧が通常に戻らない場合は、認定されたサービス代理店にお問い合わせください。

A

部品番号

部品リスト 88

部品リスト

説明	Creo 部品番号
エア フィルタ交換キット	332-00003
吸気プリフィルタ [24" x 12" x 2"]	55-0700
フィルタ ボール/自動ドレイン付ガード	55-0175
フィルタ ボール/手動ドレイン付ガード	55-0174
Kimberly Clark 製 Kimwipes EX-L (Wipers) [15" x 17" サイズ]	Creo は Kimwipes を販売しません。

B

ラベル

概要 90
ID と認証ラベル 91
レーザーの安全性ラベル 96
一般的な安全性ラベル 100

概要

この付録では出力デバイスのラベルに関する情報を示します。これらのラベルは、出力デバイスを安全に操作するためのものです。この付録に記載されているすべてのラベルは、オペレータが触れることができ、ほとんどが出力アクセス パネルの内側にあります (全体的なインターロック式保護筐体の中)。

項目	参照先
ID ラベル	92 ページ
クラス 1 レーザー製品ラベル	93 ページ
CDRH 認証ラベル	93 ページ
CE ラベル	94 ページ
CSA ラベル	94 ページ
FCC 認証ラベル	94 ページ
C-Tick ラベル	95 ページ
露出ヘッド アパチュア ラベル	97 ページ
可動部品注意事項/レーザー危険警告/放射線出力/クラス 4 レーザー製品ラベル	97 ページ
非インターロック式パネル危険ラベル	98 ページ
ドア インターロック危険ラベル	99 ページ
高圧漏れ電流ラベル	100 ページ
安全性インターロック オーバーライド ラベル	101 ページ
危険電圧ラベル	102 ページ
過熱表面注意ラベル	102 ページ
可動部品ラベルに注意してください	103 ページ
手を触れないでください警告ラベル	103 ページ
インターロック故障時に可動部品に注意ラベル	104 ページ
ソレノイド ロック ラベル	104 ページ
ヒューズ交換ラベル	105 ページ

ID と認証ラベル

これらのラベルは右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。

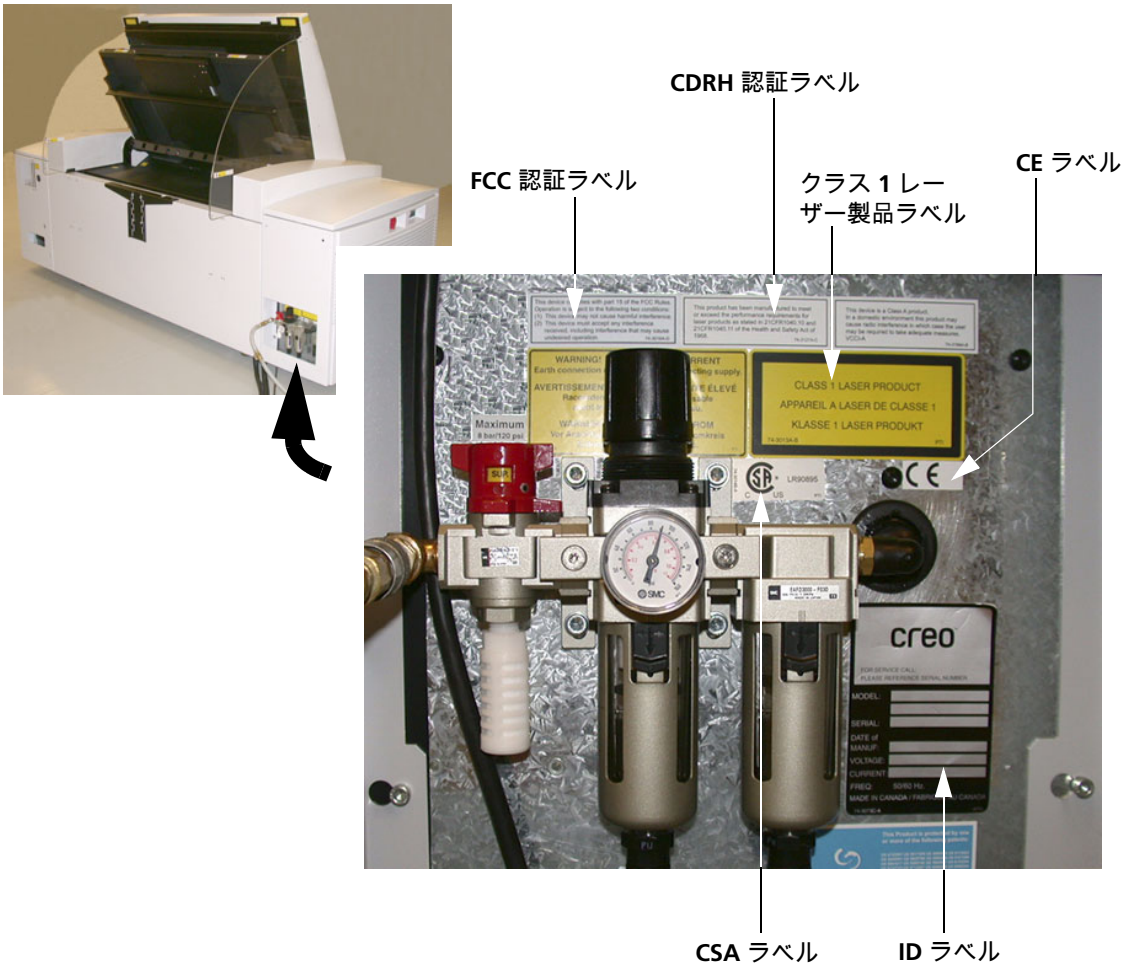


図 40: ID と認証ラベル

ID ラベル

このラベルは、91 ページの図 40に示されるように、右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。

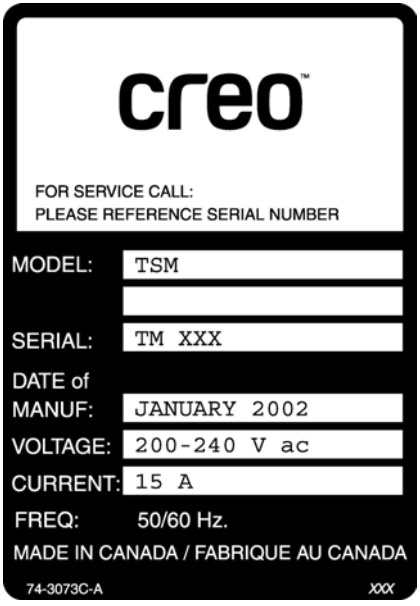


図 41: ID ラベル

上記のラベルの翻訳 :

サービス連絡先
シリアル番号を参照してください
モデル :TSM
製造日 :< 月 > < 年 >
電圧 :200-240 V ac
電流 :15 A
頻度 :50/60 Hz
カナダ製

クラス 1 レーザー製品ラベル

このラベルは、91 ページの図 40に示されるように、右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。



図 42: クラス 1 レーザー製品ラベル

上記のラベルの翻訳：

CLASS 1 LASER PRODUCT

CDRH 認証ラベル

このラベルは、91 ページの図 40に示されるように、右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。

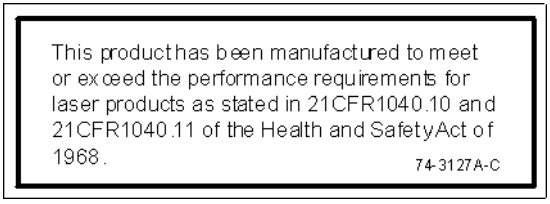


図 43: CDRH 認証ラベル

上記のラベルの翻訳：

本製品は、Health and Safety Act of 1968 の 21CFR1040.10 と 21CFR1040.11 に規定されたレーザー製品のパフォーマンス要件を満たすか、それを超えるように製造されています。

CE ラベル

このラベルは、91 ページの図 40に示されるように、右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。



図 44: CE ラベル

CSA ラベル

このラベルは、91 ページの図 40に示されるように、右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。



図 45: CSA ラベル

FCC 認証ラベル

このラベルは、91 ページの図 40に示されるように、右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。

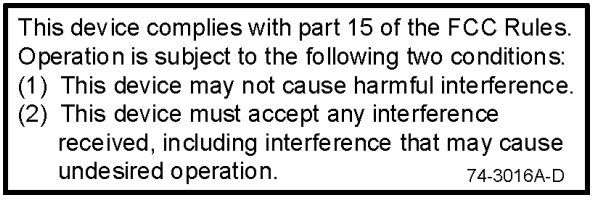


図 46: FCC 認証ラベル

上記のラベルの翻訳：

このデバイスは、FCC 規則の第 15 部を遵守しています。操作は、以下の 2 つの条件を前提としています。

(1) このデバイスが危険な妨害を及ぼさない。

(2) このデバイスは、望ましくない動作を生じさせる可能性のある妨害を含む妨害を受け付けなければならない。

C-Tick ラベル

このラベルは、ACA (Australian Communications Authority) の認証を示します。このラベルは、図 40には示されていませんが、右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。



図 47: C-Tick ラベル

レーザーの安全性ラベル

露出ヘッドにあるレーザー安全性ラベル:

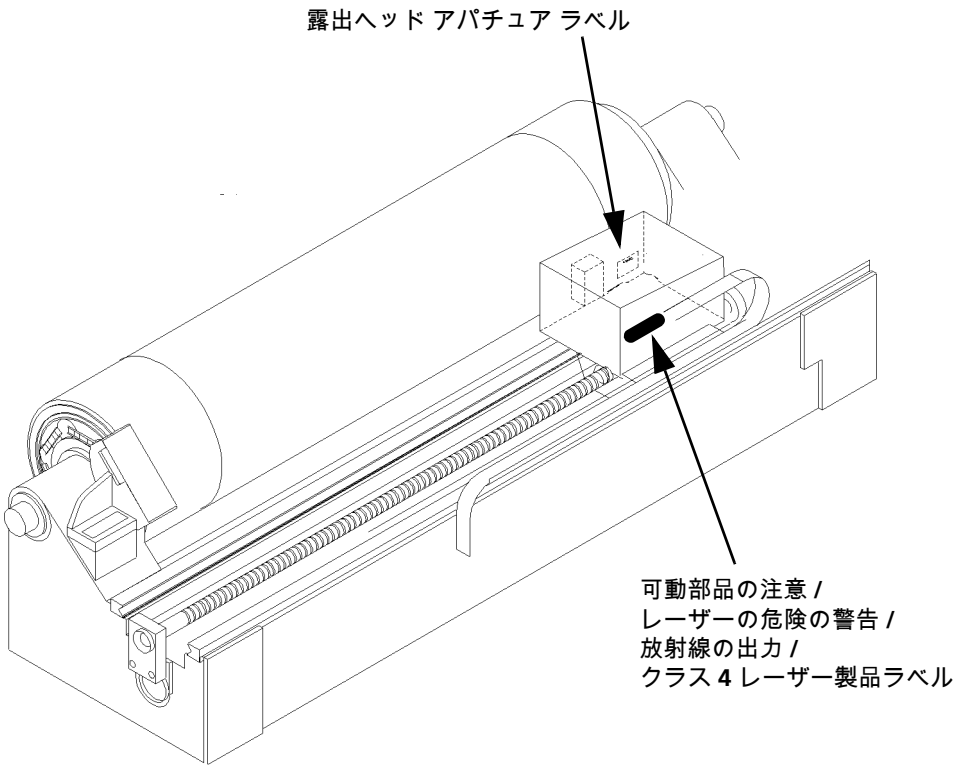


図 48: 露出ヘッド レーザー安全性ラベル

露出ヘッド アパチュア ラベル

このラベルはシャッターとアパチュアの隣にある露出ヘッド保護筐体の前面にあります。場所を示す図については、96 ページの図 48を参照してください。



図 49: 露出ヘッド アパチュア ラベル

上記のラベルの翻訳：

露出を避けてください。目に見える、あるいは目に見えないレーザー光線がこの装置から放出されています。

可動部品注意事項/レーザー危険警告/放射線出力/クラス 4 レーザー製品ラベル

可動部品注意事項/レーザー危険警告/放射線出力/クラス 4 レーザー製品安全性ラベルは、露出ヘッド保護筐体の背面にあります。場所を示す図については、96 ページの図 48を参照してください。

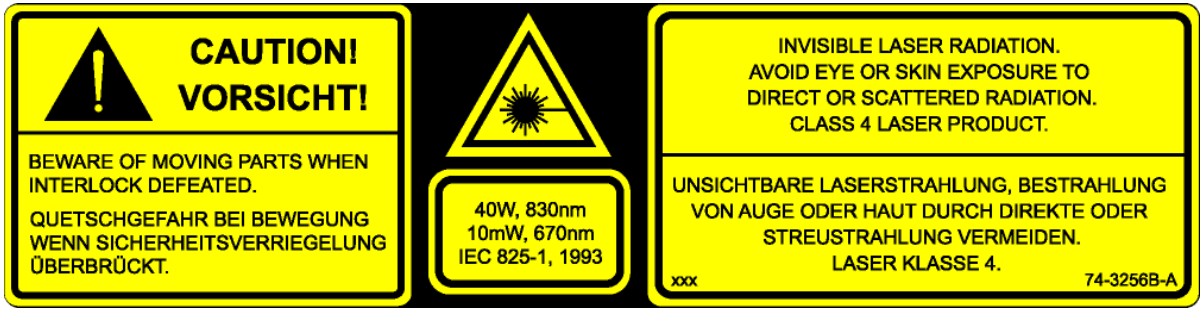


図 50: 可動部品注意事項 / レーザー危険警告 / 放射線出力 / クラス 4 レーザー製品ラベル

上記のラベルの翻訳：

注意インターロックが壊れている場合は、可動部品に注意してください。

目に見えないレーザーが放射されています。直接または分散放射線に目や皮膚をさらさないでください。クラス 4 レーザー製品。

非インターロック式パネル危険ラベル

このラベルは、以下の 4 箇所にあります。

- 上部サービス アクセス パネルの両端で、アンロード テーブルの下。
- 下部サービス アクセス パネルの両端で、アンロード テーブルの下。

危険：サービス アクセス パネルは、認定されたサービス代理店によってのみ取り外すことができます。許可のないパネルの取り外しを行うと、高電力レーザー放射線、可動機械部品または電気的なショックの危険にさらされる可能性があり、結果として不快感、疾病、怪我、身体的障害を及ぼす可能性があります。



図 51: 非インターロック式パネル危険ラベル

上記のラベルの翻訳：

危険！開いたときに目に見える、または目に見えないレーザー放射線が放出されます。直接または分散放射線に目や皮膚をさらさないでください。

ドア インターロック危険ラベル

これらのラベルは、インターロック式保護筐体の中の安全インターロック スイッチの脇にあります。



図 52: ドア インターロック危険ラベル

上記のラベルの翻訳：

危険！開いていて、インターロックが壊れているときに目に見える、または目に見えないレーザー放射線が放出されます。直接または分散放射線に目や皮膚をさらさないでください。

危険： インターロック システムを妨害することにより、可視または不可視の高電圧レーザー放射線、電気的ショック、および可動機械部品による深刻な人体への怪我を及ぼす可能性があります。アクセス パネルが開いたまま出力デバイスを操作しようとしないでください。また、出力デバイスがメディアをイメージングしている間に、アクセス パネルを開いたり、取り外したりしないでください。

一般的な安全性ラベル

高圧漏れ電流ラベル

このラベルは右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。



図 53: 高圧漏れ電流ラベル

上記のラベルの翻訳：

警告！高圧漏れ電流

電源に接続する前にアース接地することが重要です。

安全性インターロック オーバーライド ラベル

このラベルは、電源ボックスパネルのサービス キー スイッチの脇にあります。

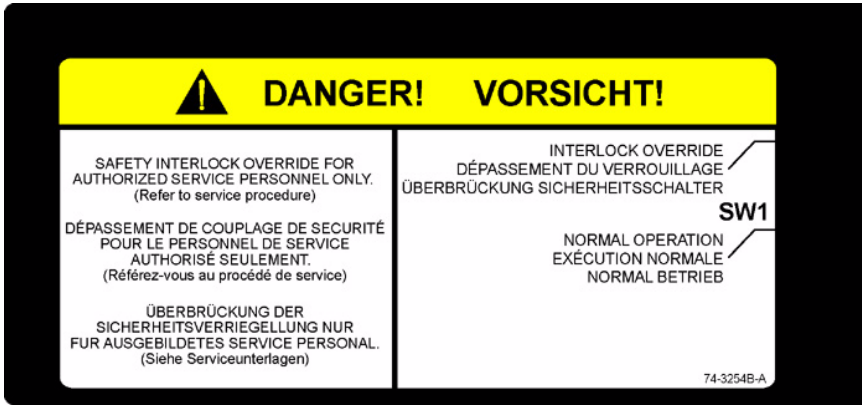


図 54: 安全性インターロック オーバーライド ラベル

上記のラベルの翻訳：

危険！

認定されたサービスマンのみが安全性インターロックをオーバーライドできます。(サービス手順を参照。)

インターロック オーバーライド

通常操作

危険：サービス キー スイッチは、認定されたサービス代理店のみが使用できます。許可のなく使用すると、高電力レーザー放射線、可動機械部品または電気的なショックの危険にさらされる可能性があり、結果として不快感、疾病、怪我、身体的障害を及ぼす可能性があります。

危険電圧ラベル

このラベルは、ファン ボックスのジャンクション ボックス サービス アクセス カバー上に貼られています。



図 55: 危険電圧ラベル

危険：ジャンクション ボックス サービス アクセス カバーは、認定されたサービス代理店によってのみ取り外すことができます。このラベルが貼られているカバーを取り外さないでください。この領域には高圧電流部品が含まれているため、伝記ショックなど、不快、疾病、怪我、身体的障害を及ぼす可能性があります。

過熱表面注意ラベル

このラベルは、ファン ボックス パネル内部の熱交換循環ポンプ上に貼られています。



図 56: 過熱表面注意ラベル

可動部品ラベルに注意してください

このラベルはアンロード テーブルの両端にあります。



図 57: 可動部品に注意ラベル

上記のラベルの翻訳：

注意！可動部品に注意してください。

手を触れないでください警告ラベル

このラベルは先端エッジ アクチュエーターの中央、前面パネルの後ろにあります。

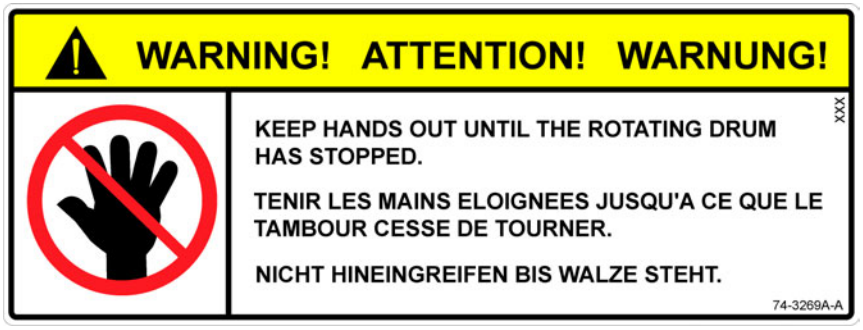


図 58: 手を触れないでください警告ラベル

上記のラベルの翻訳：

警告！回転ドラムが停止するまで、手を触れないでください。

インターロック故障時に可動部品に注意ラベル

このラベルは、以下の 3 箇所にあります。

- オペレータ ドアの背後のピッカーの前面
- 先端エッジ アクチュエータの両端の前面パネルの背後

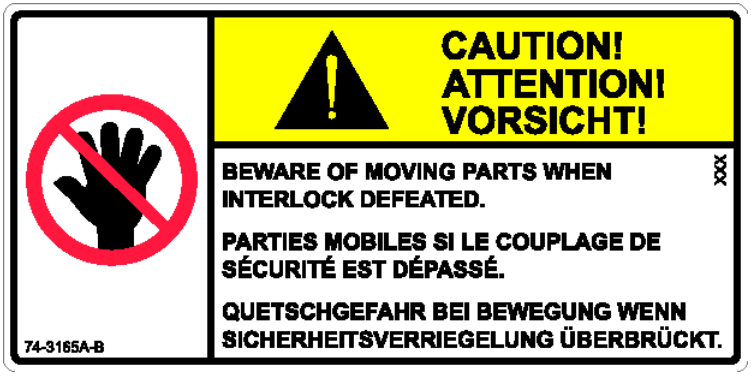


図 59: インターロック故障時に可動部品に注意ラベル

上記のラベルの翻訳：

注意！インターロックが壊れている場合は、可動部品に注意してください。

ソレノイド ロック ラベル

このラベルは前面パネルの各ラッチの脇にあります。

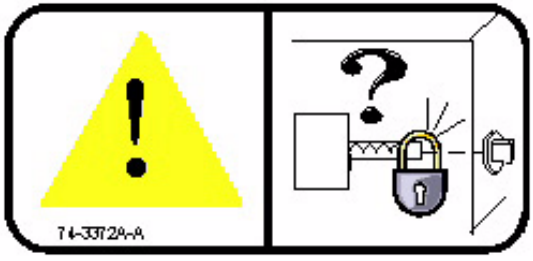


図 60: ソレノイド ロック ラベル

ヒューズ交換ラベル

このラベルは、サービス アクセス パネルの下で、左下の電源ボックス パネルの中にあります。

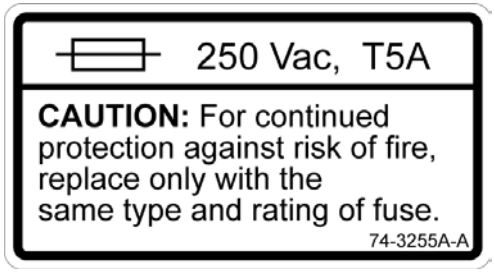


図 61: ヒューズ交換ラベル

上記のラベルの翻訳：

注意継続的な防火のために、同じ種類で定格のヒューズとのみ交換してください。

C

法律上の遵守事項

電気的および機械的な安全 108
レーザーの安全性 110
EMI/EMC の遵守 110
ノイズの放出 111

電気的および機械的な安全

Trendsetter NEWSは、次の電気的および機械的な安全基準に従って設計、テスト、および評価されました。

- CSA 950、*Safety of Information Technology Equipment*
- UL 1950、*Safety of Information Technology Equipment*
- EN 60950、*Safety of Information Technology Equipment*
- EN 60204-1、*Safety of Machinery*

出力デバイスの CSA ラベルは、CSA 950 および UL 1950 標準の遵守を示しています。出力デバイスの CE ラベルは次の通達の遵守を示しています。

- Low Voltage Directive 73/23/EEC
- Directive of Machinery 98/37/EC
- Directive of Electromagnetic Compatibility 89/366/EEC

これらのラベルについては、付録 Bの「ラベル」を参照してください。

遵守のEC 宣言

creo Creo Inc.
3700 GILMORE WAY, BURNABY, BC CANADA V5G 4M1
T. +1.604.451.2720
F. +1.604.451.2748

EC DECLARATION OF CONFORMITY (FOR CE MARK)

in accordance with the Directive of Machinery 98/37/EC
and the Low Voltage Directive 73/23/EEC
and the Directive of Electromagnetic Compatibility 89/366/EEC.

Applicant:	**Creo Inc.,** 3700 Gilmore Way, Burnaby, BC, Canada, V5G 4M1.
Signature / Date:	APRIL 25, 2002
Name / Title:	Calvin Osborne, Engineering Manager.
Factory:	**Creo Inc.,** 1608 Cliveden Ave, Delta, BC, Canada, V3M 6P1.

declares, that the product:

Product:	Imaging Device.
Model:	TSM (includes options TH1.7, TH2, Hydra and autoloader).
Rating:	Input rated 200-240 Vac, 50/60 Hz, 15 A, cord connected, Class I (grounded).

conforms with the above mentioned Directives and the following Applicable Standards:

EN 292-2: 1991 + A1.
- Safety of Machinery.

EN 60204-1: 1997.
- Safety of Machinery, Electrical Equipment of Machines.

EN 60950: 1992 + A1 + A2 + A3 + A4 + A11.
- Safety of Information Technology Equipment Including Electrical Business Equipment.

EN 60825-1: 1994 + A2, Class 1 Laser Product.
- Safety of Laser Products.

EN 55022: 1998, Class A.
- EMC, Product Standard, Emission (CISPR 22)

EN 55024: 1998.
- EMC, Product Family Standard, ITE Immunity Characteristics - Limits & Methods of Measure.

EN 61000-3-3: 1995.
- EMC, Limitation of Voltage Fluctuations and Flicker In Low-Voltage Supply Systems For Equipment.

Supplementary Information: The product is high-power equipment (>1 kW) for professional use and is therefore exempt from the requirements of EN 61000-3-2. Creo Inc is registered to ISO 9001.

European Contact:	Mr. Alon Lumbroso; Managing Director, **Creo Inc.,** European Headquarters, Waterloo Office Park, Building E-F, Dreve Richelle 161, 1410 Waterloo, Belgium. **T.** 32-2-3522511, **F.** 32-2-3510915.

図 62: **遵守の** EC **宣言**

レーザーの安全性

Trendsetter NEWSは、次のレーザー光線の安全基準に従って設計、テスト、および評価されました。

- 米国食品薬品局の CDRH (Center of Devices and Radiological Health) の規則に従った米国連邦規則 21 CFR 1040 10 および 1040.11。
- EN 60825-1, *Safety of Laser Products*

出力ラベルの Class 1 Laser Product ラベルは、これらの標準の遵守を示します。このラベルの例については、付録 Bの「ラベル」を参照してください。



警告 : コントロールや調整を使用したり、このマニュアルで指定されている以外の手順を実行すると、危険な放射線にさらされる可能性があります。

EMI/EMC の遵守

Trendsetter NEWSは、FCC 規則の第 15 部に従ってクラス A デジタル装置に関する制限に遵守していることをテストし、確認しています。これらの制限は、出力デバイスが商用環境で操作されるときの危険な妨害からの正当な保護を行うように設計されています。

この機器は無線周波数エネルギーを生成し、使用し、放射する可能性があり、このマニュアルに従って設置および使用されない場合は、無線通信を妨害する可能性があります。住宅地域における出力デバイスの操作は危険な妨害を生じさせることがあります。これらの妨害については、使用者の費用負担で修正する必要があります。

出力デバイスの FCC 認証ラベルは、これらの制限の遵守を示します。このラベルの例については、付録 Bの「ラベル」を参照してください。

Trendsetter NEWSは、Directive of Electromagnetic Compatibility 89/366/EEC に遵守していることをテストし、確認しています。これは、EMC 標準を遵守しています。

- EN 55022, クラスA
- EN 55024
- EN 61000-3-3

ノイズの放出

Trendsetter NEWSは、オフィス環境に許可された最大ノイズ放出制限である 70 dB(A) を遵守するように設計、テスト、および評価されています。Trendsetter NEWSからのノイズ放出は、自由な領域で 1 メートルの地点で 69 dB(A) を超えることはありません。

用語集

CMYK	シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック。プロセス カラーを作成するための印刷用のカラー。
GATF	Graphic Arts Technical Foundation。
PDF	Portable Document Format。Adobe System の PDF は、ページの線画、イメージ、およびテキスト（必要なフォントすべてを含む）を保存するための確実なファイル形式です。
PostScript	Postscript インタープリタを装備したデバイスに出力するために、種類とビジュアルな要素を記述するために使用される Adobe Systems が開発したページ記述言語。
PostScript ファイル	ネイティブのアプリケーション ファイルから作成されたページ記述言語で書かれたファイル。
PPD	Postscript プリンタ記述ファイル。特定の Postscript 出力デバイスに関連付けられたパラメータとオプションに関する情報を含むコンピュータ ファイル。
Print Console	イメージングのために、出力デバイスにファイルを送信するデバイス コントロール ソフトウェア。Print Console は PostScript ファイルのラスター化されたイメージを作成します。つまり、PostScript Level 3 ソフトウェアRIP (raster image processor) です。ソフトウェア RIPs PostScript ファイルは、メディアに露光させるイメージを作成します。
RGB	カラーを表示するためにコンピュータ モニタで使用される赤、緑、および青のカラー モデル。
RIP	Raster Image Processor。イメージングのために出力デバイスに送信される Postscript ファイルからのビットマップ イメージを作成します。
SCSI	Small Computer System Interface。このタイプの接続は、ワークステーションから出力デバイスにイメージ データを送信するときに使用します。
SWOP	Web オフセット出版の仕様。
UGRA	Swiss Association for the Promotion of Research。
イメージ	印刷メディアにプロットされる電子ビットマップ。出力デバイスは Print Console からイメージを受け取り、露出した未現像のメディアを作成します。

イメージング ヘッド	露出ヘッドを参照してください。
エラー メッセージ	システム操作のエラーが起きたとき、エラー メッセージが Print Console に表示され、システムがシャットダウンします。通常操作を続行する前にこの問題を解決する必要があります。
解像度	イメージが再生される詳細の度合い、通常は 1 インチあたりのドット数 (dpi) または 1 インチあたりのライン数 (lpi) で示されます。解像度が高いほど、イメージの再生が詳細になります。
見当	印刷されたイメージを作成するための別のメディアの整列。
出力デバイス	Creo イメージング システムの一部であるプレートセッター、プルーフセッター、またはフィルムセッター。
処理量	イメージが解読され、作成される効率。
スポット カラー	特別なインクを必要とするカラー。つまりプロセス カラーを使用して作成できないインク。
送信	イメージングのキューにファイルを入れるプロセス。
中断条件	現在のオペレーションの続行を妨げる出力デバイスの条件。
特殊なカラー	スポット カラーを参照してください。
ドット ゲイン	印刷において、実際のドットの大きさよりも大きく印刷される障害で、トーンが暗くなり、カラーがより強くなります。
ドラム	出力デバイスの中のデバイスで、レーザーによりイメージングするためにメディアをマウントするもの。
ネイティブ アプリケーション ファイル	QuarkXPressÆ などのページ レイアウト アプリケーションを使用して作成されたジョブのファイル。
パノラマ	2 ページを広げた状態を示す新聞業界の用語。ダブル幅ページとも呼ばれます。
ファイル	1 つまたは複数のイメージの電子テキスト記述。PostScript 言語を使用します。このとき、Print Console は複数の PostScript showpage オペレータを含むファイルをサポートしません。
プレート	イメージが露光される物理的なメディア。Trendsetter NEWSは、1 つのイメージごとに 1 枚の露光プレートを作成します。
プレート プロセッサ	プレートを現像するために、Trendsetter NEWSで使用される機器。デベロッパとも呼ばれます。
ブロードシート	1 ページを広げた状態を示す新聞業界の用語。シングル幅ページとも呼ばれます。

プロセス カラー	GATFを参照してください。
プロンプト番号	ワークステーション メッセージ、一般的にはエラー メッセージ、を識別するエラー番号です。
ページ設定	ワークステーション ソフトウェアで、解像度と方向を含むページの仕様の集合。
メディア	イメージがプロットされる物理的な材料であるプレート。メディアとプレートは代わる代わる使用されます。
メディアの種類	プレートの特定のタイプ。メディアの種類は通常、Creo サービス代理店により出力デバイスのインストール中に設定されます。
メディア整列ラベル	メディアの正しい配置に使用されるテープ マーク。
面付け	印刷された用紙が折り込まれ、トリミングされた後、正しい順序を保つためにプレス シートの表面と裏面のページ数を配列する方法。
露出ヘッド	赤外線熱エネルギーを使用して、ヘッドが¢燃え£るかイメージが IR 感知メディアに転送されます。イメージング ヘッドとも呼ばれます。
ロード テーブル	メディアをロードするオペレータ ドアの後ろのベイ。
ロード ランプ	ランプはドラムの上でピッカーの下にあります。メディアのロードとアンロードに使用されます。
ワークステーション	Windows NT オペレーティング システムと Print Console を実行する高速-コンピュータ。PostScript ファイルを受信するローカル エリア ネットワーク (LAN) に接続されます。
ワークステーション ソフトウェア	Print Console を参照してください。

索引

数字

0.01 ミクロン フィルタ, 51
5 ミクロン フィルタ, 48

C

[Cancel(キャンセル)] ボタン, 60
CDRH 認証ラベル, 93
CE ラベル, 94, 108
CSA ラベル, 94
C-Tick ラベル, 95

E

[Eject(排出)] ボタン, 60
EMC 標準, 110
[Emergency Stop (緊急停止)]スイッチ, 78
  リセット, 78

F

FCC
  規則, 110
  認証, 110
FCC 認証ラベル, 94

H

[History (履歴)] ペイン
  エラー , 59
[History (履歴)] ペイン
  警告, 58

I

ID ラベル, 92

L

[Leave On(オンのまま)] ボタン, 60

M

[Media Removed(メディア取り外し完了)] ボタン, 60
[Message(メッセージ)] ペイン, 58

P

Print Console, 8
  [History (履歴)] ペイン, 58
  [Message(メッセージ)] ペイン, 58

R

[Release(リリース)] ボタン, 60
[Resume(続行)] ボタン, 60

S

オペレータ インターフェイス, 13
[Start(スタート)] ボタン, 13

T

Trendsetter ニュース
  コンポーネント, 8
  システム, 8
  出力デバイス, 8
  消耗品, 15

あ

アクセス パネル
  パネルを参照
圧縮エア サプライ フィルタ
  エア フィルタを参照
安全性
  安全に関する情報, 2
    安全パネル , 10
    インターロック システム , 4, 34
    可聴警告 , 10
    緊急停止スイッチ , 5
  メンテナンス, 34
安全性インターロックオーバーライド ラベル, 101
安全パネル, 13
アンロード テーブル, 11, 13
アンロード安全パネル, 10

い

移動
  後続エッジ クランプ, 81
イメージ品質上の問題
  解決, 84
イメージ品質上の問題の解決, 84
イメージング エラー , 58
イメージング ライト, 12
インターロック システム, 4, 34
インターロック故障時に可動部品に注意ラベル, 104

う

ウォームアップ時間, 20

え

エア フィルタ
  エア サプライ フィルタ, 45
    検査 , 47
    交換 , 46
    場所 , 46
  吸気フィルタ, 45
    交換 , 54
    場所 , 54
エッジ検出ストリップ
  清掃, 43
エラー
  オペレータが回復可能, 58
  報告, 58
  メッセージ、望ましい解決法, 62
エラー メッセージ
  番号順のリスト, 64
エラーのカテゴリー , 63
エラー ライト, 12

お

オペレータ インターフェイス, 11, 58
  イメージング ライト, 12
  エラー ライト, 12
  ロード ライト, 12
ボタン, 13
オペレータ ドア, 10
  イメージングされたメディアの取り外し, 29
  清掃, 36
オペレータが回復可能なエラー
  処理を続行, 58

処理を中断, 58

か

回復可能なエラー
オペレータが回復可能なエラーを参照
回路ブレーカー
トリップされた, 84
パネルの場所, 84
リセット, 84
可聴警告, 10
可動部品注意事項/レーザー危険警告/放射線出力/クラス 4 レーザー製品ラベル, 97
可動部品に注意ラベル, 103
過熱表面注意ラベル, 102
環境に関する仕様
温度, 14
湿度, 14
ノイズ, 14

き

機械的な安全, 108
危険記号, xi
危険電圧ラベル, 102
吸気フィルタ
交換, 54
緊急停止スイッチ, 5
安全性, 5

く

空圧の損失, 85
クラス 1 レーザー製品ラベル, 93

け

検査
エア サプライ フィルタ, 47
検査中
吸気フィルタ, 33

こ

高圧漏れ電流ラベル, 100
交換
エア サプライ フィルタ, 46
0.01 ミクロン フィルタ , 51
5 ミクロン フィルタ , 48
吸気フィルタ, 54
交換部品, 88
後続エッジ クランプ, 80, 83
移動, 81, 82
パーク ポジション, 79
このマニュアルで使用される記号, xi
コンポーネント
システム, 8
出力デバイス, 10

さ

材料
版, 15
フィルタ, 15

し

システム (図表), 8
自動操作, 22
重要記号, xi
出力デバイス
ウォームアップ時間, 20
エラー , 58
外部の清掃, 35
空圧の損失, 85
始動, 20
シャットダウン, 21
内部へのアクセス, 37
メンテナンス, 32
リセット, 78
出力デバイスの空圧の損失, 85
出力デバイスのコンポーネント
アンロード テーブル, 13
オペレータ インターフェイス, 11
オペレータ ドア, 10
手動バイパス ドア, 10
ロード テーブル, 10
出力デバイスの始動, 20
出力デバイスの内部, 42
出力デバイスの内部へのアクセス, 37
出力デバイスをオフにする, 21
出力デバイスをオンにする, 20
出力デバイスをシャットダウンする,21
手動操作, 25
手動バイパス
手動オペレーションを参照。
手動バイパス ドア, 10
閉じる, 29
開く, 26

遵守
法律上の遵守事項を参照
遵守の宣言, 109
仕様 (環境)
温度, 14
湿度, 14
ノイズ, 14
消耗品, 15
版, 15
フィルタ, 15
プロセッサ消耗品, 15
除去
汚れ, 36
処理を中断, 58

す

ステータス ライト, 13

せ

清掃
エッジ検出ストリップ, 43
オペレータ ドア, 36
出力デバイスの外部, 35
出力デバイスの内部, 42
推奨事項, 35
プレート ローラー , 44
ロード テーブル, 36
整列ラベル
説明, 30
先端エッジ アクチュエータ, 104
先端エッジ クランプ, 83
場所, 81
前面パネル, 37
閉じる, 39
開く, 38
前面パネルのラッチ, 39

そ

操作
自動, 22
手動, 25
ソレノイド ロック ラベル, 104

ち

注意記号, xi
中断オプション

[Cancel(キャンセル)] ボタン, 60
[Release(リリース)] ボタン, 60
[Resume(続行)] ボタン, 60
[Media Removed(メディア取り外し完了)] ボタン, 60
[Eject(排出)] ボタン, 60
中断条件
回復, 60

つ

詰まったプレート、取り出し, 79

て

手を触れないでください警告ラベル, 103
電気的な安全, 108
電源ボックス パネル, 37
取り付け, 42
取り外す, 42
電源の障害
回復, 84

と

ドア
オペレータ, 10
手動バイパス, 10
閉じる
手動バイパス ドア, 29
前面パネル, 39
トップ パネル
電源ボックスの端のトップ パネル, 37
ファン ボックスの端のトップ パネル, 37
ドラム
場所, 44
取り付け
電源ボックス パネル, 42
ファン ボックス パネル, 41
取り外す
詰まったプレート, 79
電源ボックス パネル, 42
ファン ボックス パネル, 40

ね

熱レーザーの安全性, 4

は

背面パネル, 37
パネル
安全パネル, 13
前面パネル, 37
電源ボックス パネル, 37, 42
電源ボックスの端のトップ パネル, 37
背面パネル, 37
ファン ボックス パネル, 37, 40
ファン ボックスの端のトップ パネル, 37
パノラマ プレート, 8, 22
版
消耗品, 15

ひ

非インターロック式パネル危険ラベル, 98
ヒューズ交換ラベル, 105
開く
手動バイパス ドア, 26
前面パネル, 38
電源ボックス パネル, 42
ファン ボックス パネル, 40

ふ

ファン ボックス パネル, 37
取り付け, 41
取り外す, 40
フィルタ
エア サプライ フィルタ
0.01 ミクロン , 51
5 ミクロン , 48
検査 , 47
交換 , 45
交換の頻度 , 45
清掃 , 45
場所 , 46
吸気フィルタ
交換 , 54
場所 , 54
消耗品, 15
部品のリスト, 88
部品番号
エア フィルタ交換キット, 88
吸気プリフィルタ, 88
ボール/ガード、自動ドレイン, 88
ボール/ガード、手動ドレイン, 88
プレート
メディアも参照。
ドラムで詰まる, 79
曲げとパンチング, 30
プレート ローラー
清掃, 44
場所, 44
プレートのロード
自動操作, 22
手動操作, 25
プレキシグラス安全パネル
安全パネルを参照
ブロードシート プレート, 8, 22
プロセッサ消耗品, 15

ほ

法律上の遵守事項
EMI/EMC, 110
機械的な安全, 108
電気的な安全, 108
レーザーの安全性, 110

ま

マニュアルで使用されているフォント, x
マニュアルでの表記規則, x

め

メッセージ
エラー , 58
警告, 58
メディア
見当, 30
サポートされているサイズ, 16
出力デバイスからの取り外し, 29
処理, 17
寸法, 16
整列ラベル, 30
タイプ
パノラマ , 22
ブロードシート , 22
複数のサイズ, 15
メンテナンス, 31
0.01 ミクロン フィルタの交換, 51
5 ミクロン フィルタの交換, 48

安全に関する情報, 2, 34
エッジ検出ストリップ, 43
オペレータ ドア, 36
出力デバイスの外部, 35
出力デバイスの内部, 42
スケジュール, 32
清掃時の推奨事項, 35
プレート ローラー , 44
汚れの除去, 36
ロード テーブル, 36

よ

汚れ、除去, 36

ら

ライト
イメージング, 12
エラー ライト, 12
ステータス, 13
ロード ライト, 12
ラベル
CDRH 認証, 93
CE, 94
CSA, 94
C-Tick, 95
FCC 認証, 94
ID, 92
安全性インターロック オーバーライド, 101
インターロック故障時に可動部品に注意, 104
可動部品注意事項/レーザー危険警告/放射線出力/クラス 4 レーザー製品, 97
可動部品に注意, 103
過熱表面注意, 102
危険電圧, 102
クラス 1 レーザー製品, 93
高圧漏れ電流, 100
ソレノイド ロック, 104
手を触れないでください警告, 103
非インターロック式パネル危険, 98
ヒューズ交換, 105
ドア インターロック危険, 99
露出ヘッド アパチュア, 97
ドア インターロック危険, 99

り

[Emergency Stop (緊急停止)]スイッチ, 78
リセット
回路ブレーカー , 84
出力デバイス, 78

れ

レーザーの安全性, 4, 110
レーザーの安全性ラベル, 96

ろ

ロード テーブル, 10
清掃, 36
ロード ライト, 12
自動操作, 22
緑 , 12
手動操作, 25
緑の点滅 , 12
露出ヘッド アパチュア ラベル, 97

わ

ワークステーション ソフトウェア
Print Console。Print Consoleを参照

www.creo.com | creo™